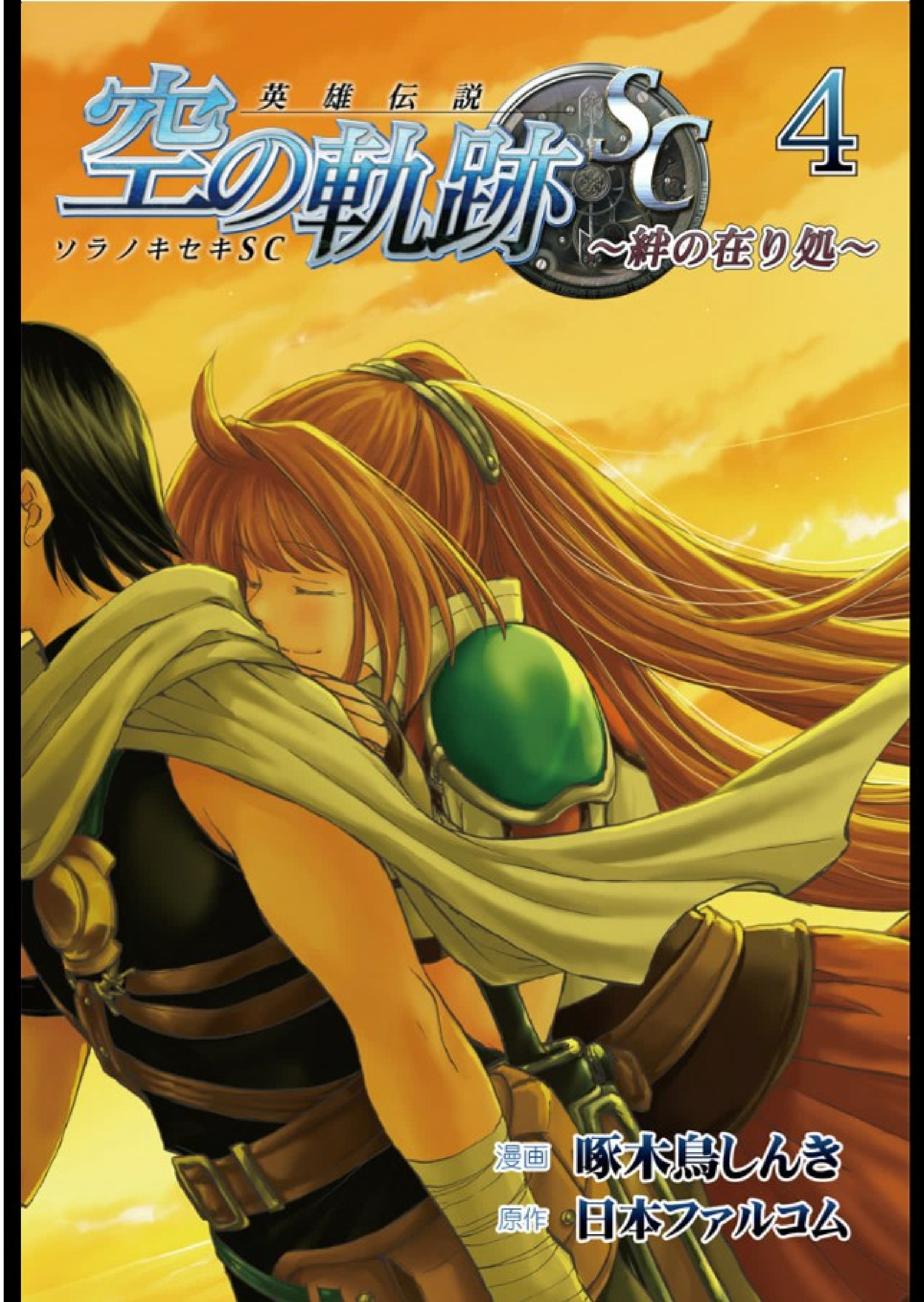

英雄伝説
空の軌跡SC
ソラノキセキSC
～絆の在り処～
4
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム

前巻までのあらすじ

ボースの町を破壊した竜を一度は追い詰めるが、《霧降り峡谷》でその姿を見失ったエステルたち。しかし、遊撃士ならではのネットワークを駆使し、峡谷の奥深くで休む竜を発見した一行は、見事な連携で竜の制圧に成功する。《レグナート》という名のその竜は、頭部に取り付けられた黒の導力器《ゴスペル》により意思を封じられ、操られていたのだった。封印を施したのは、結社《身

英雄伝説 空の軌跡SC

ソラノキセキSC

～絆の在り処～

4

漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム

喰らう蛇》で《教授》と呼ばれる謎の人物。
結社の動きにただならぬものを感じたエステルらの元に、先輩遊撃士であるクルツらのチームが、その拠点を突き止めたとの報せが届き、その地へ向かう準備をはじめる。だが、潜入していたクルツが大怪我を負った姿で発見され、さらに肝心の記憶が何者かによって封じられていた。七耀教会神父・ケビンの術で、ヴァレリア湖畔にある結社の研究施設の記憶を思い出し、エステルたちは深い霧の中に隠された施設への潜入を果たす。
だがそれは、巧妙に仕掛けられた罠だったのだ。エステルは結社の《執行者》により捕らえられ、飛行船で何処へか連れ去られてしまう。

第22話 ……….005
第23話 ……….017
第24話 ……….035
第25話 ……….053
第26話 ……….071
第27話 ……….092
第28話 ……….116
第29話 ……….140

初出
月刊ファルコムマガジンVol.92～99掲載

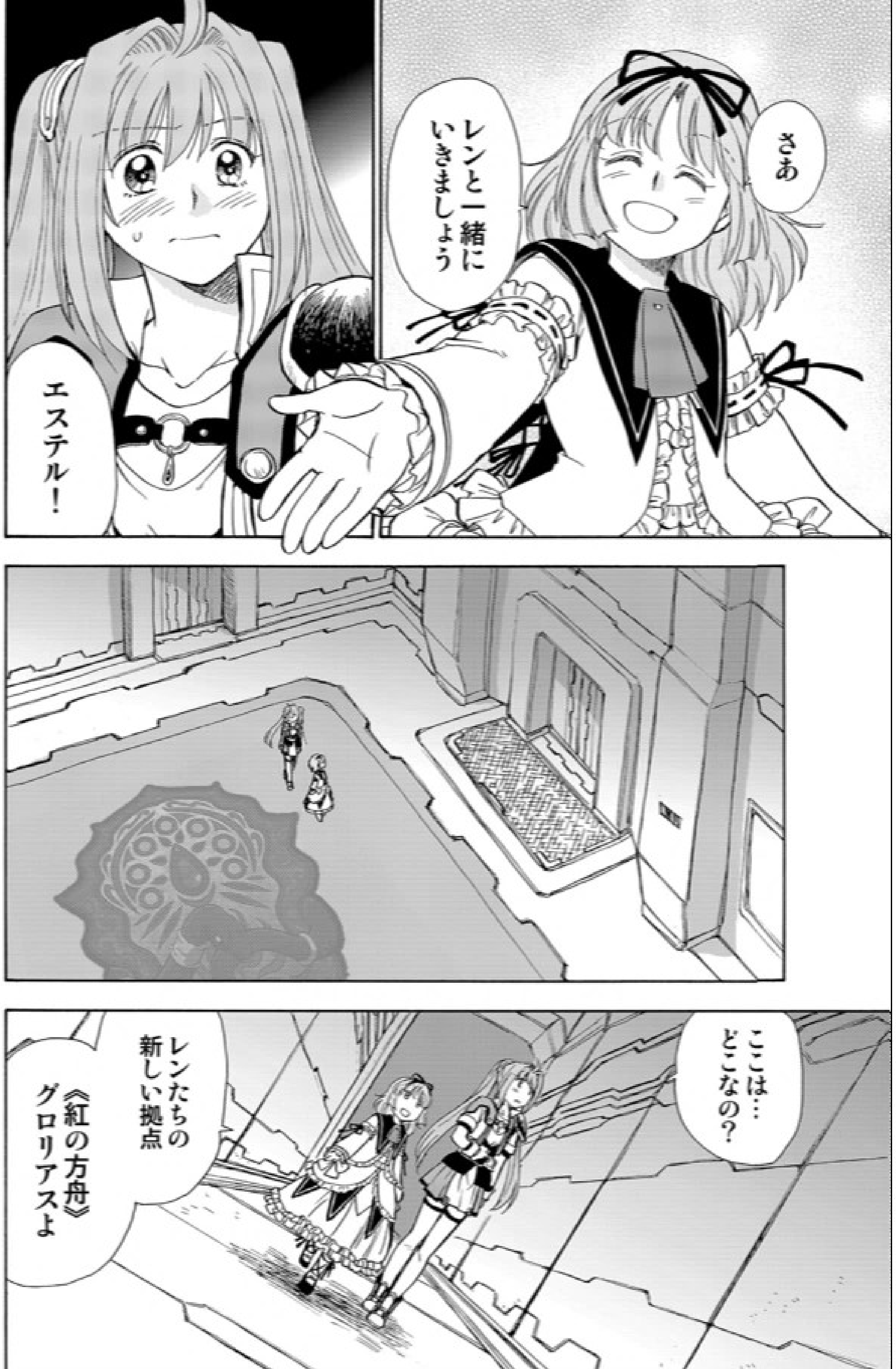
ヨシュア！
ヨシュア
やっと会えた
あたしずっとヨシュアを捜してて…

エステル
もう
いいんだ
もともと
僕は
壊れた人形
だから
人間には
戻れないから

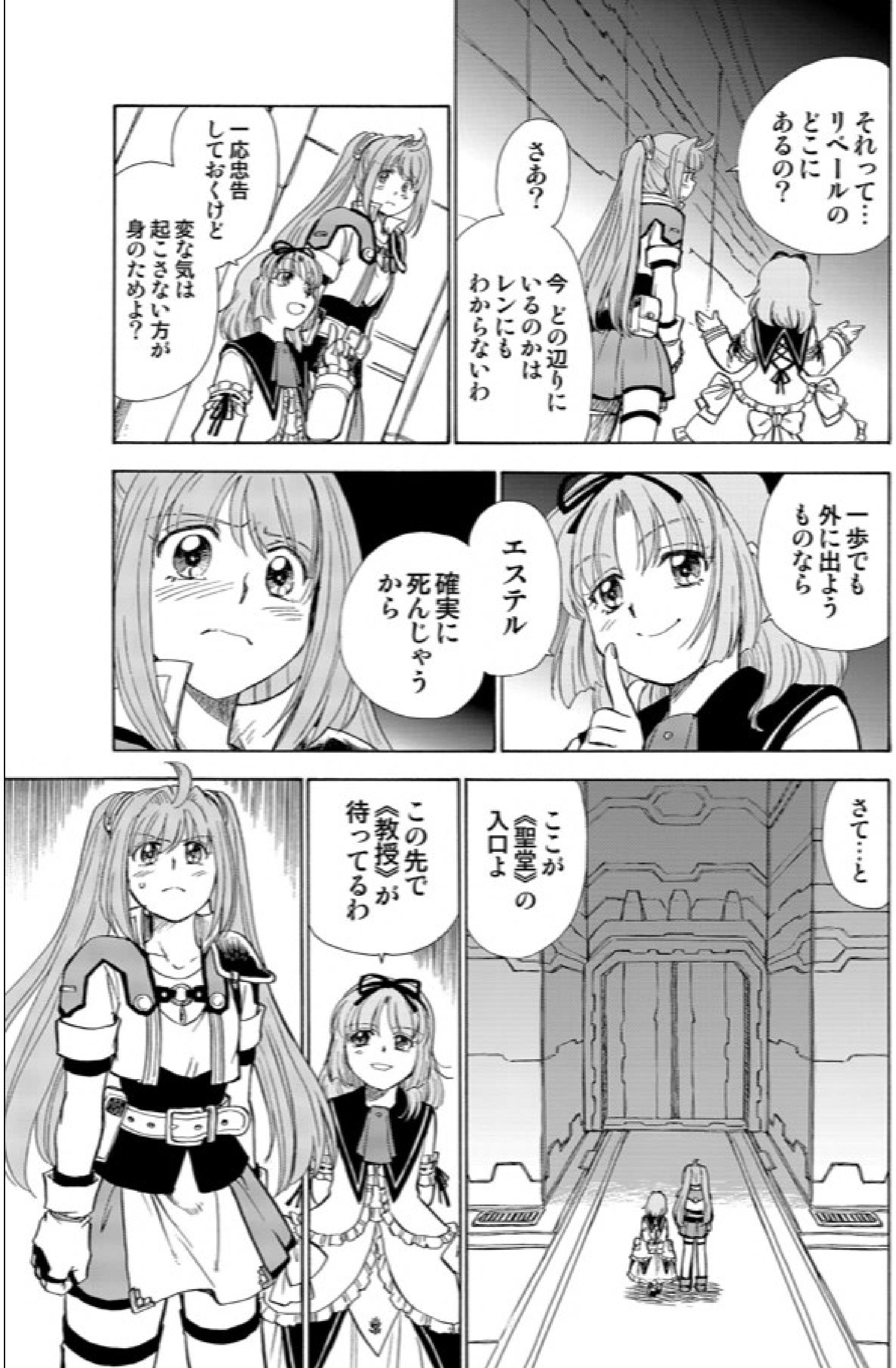
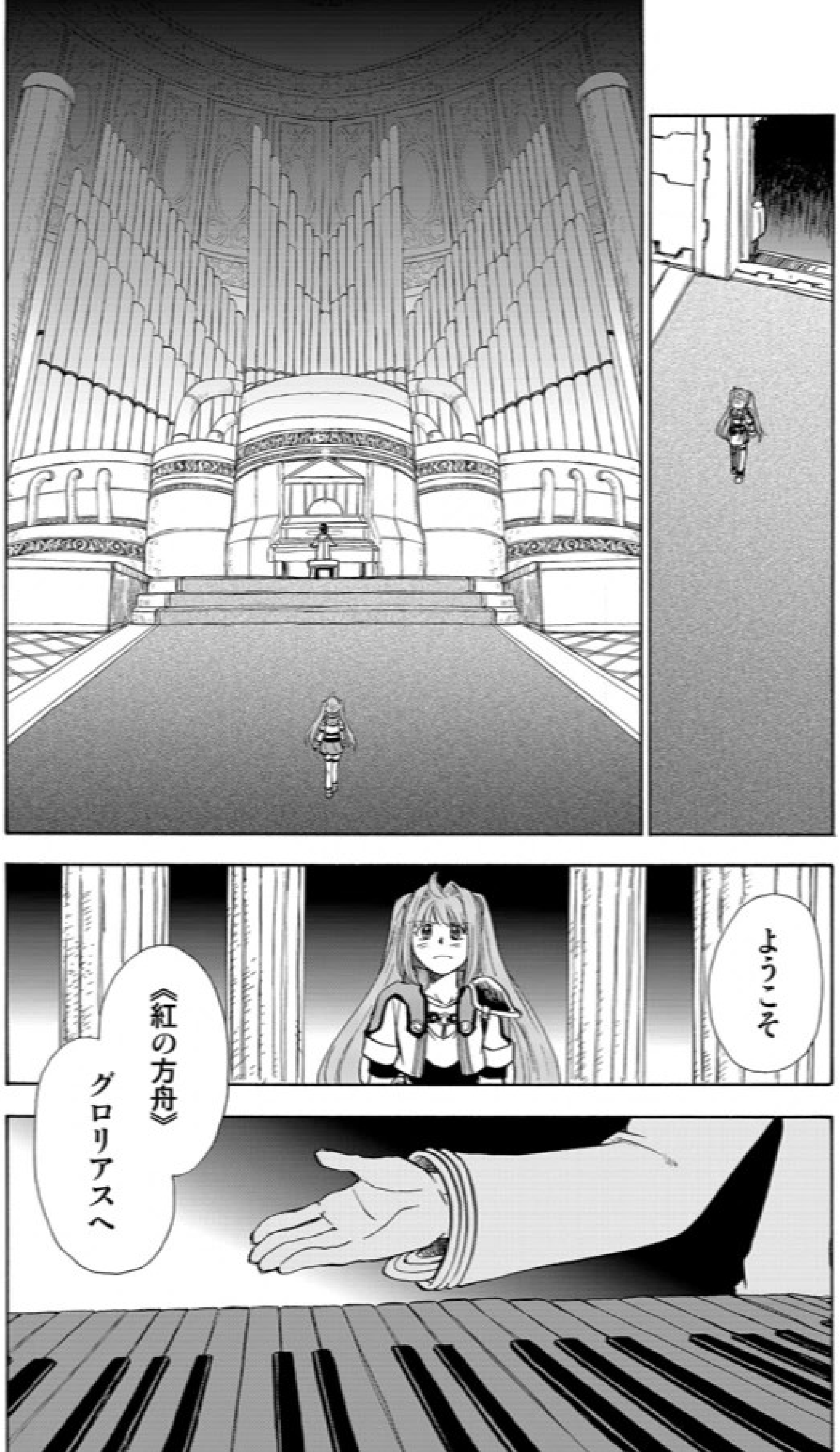
ヨシュア!!
だから
もう
いいんだよ

ありがとう
エステル
さようなら…
い…
いや…
いやあああ!!
あああ…

がば
あれ…?
ここは…
大丈夫?
エステル
やっと目が
覚めたのね
レン…


さあ
レンと一緒にいきましょう
エステル！
ここは…どこなの？
レンたちの新しい拠点《紅の方舟》グロリアスよ

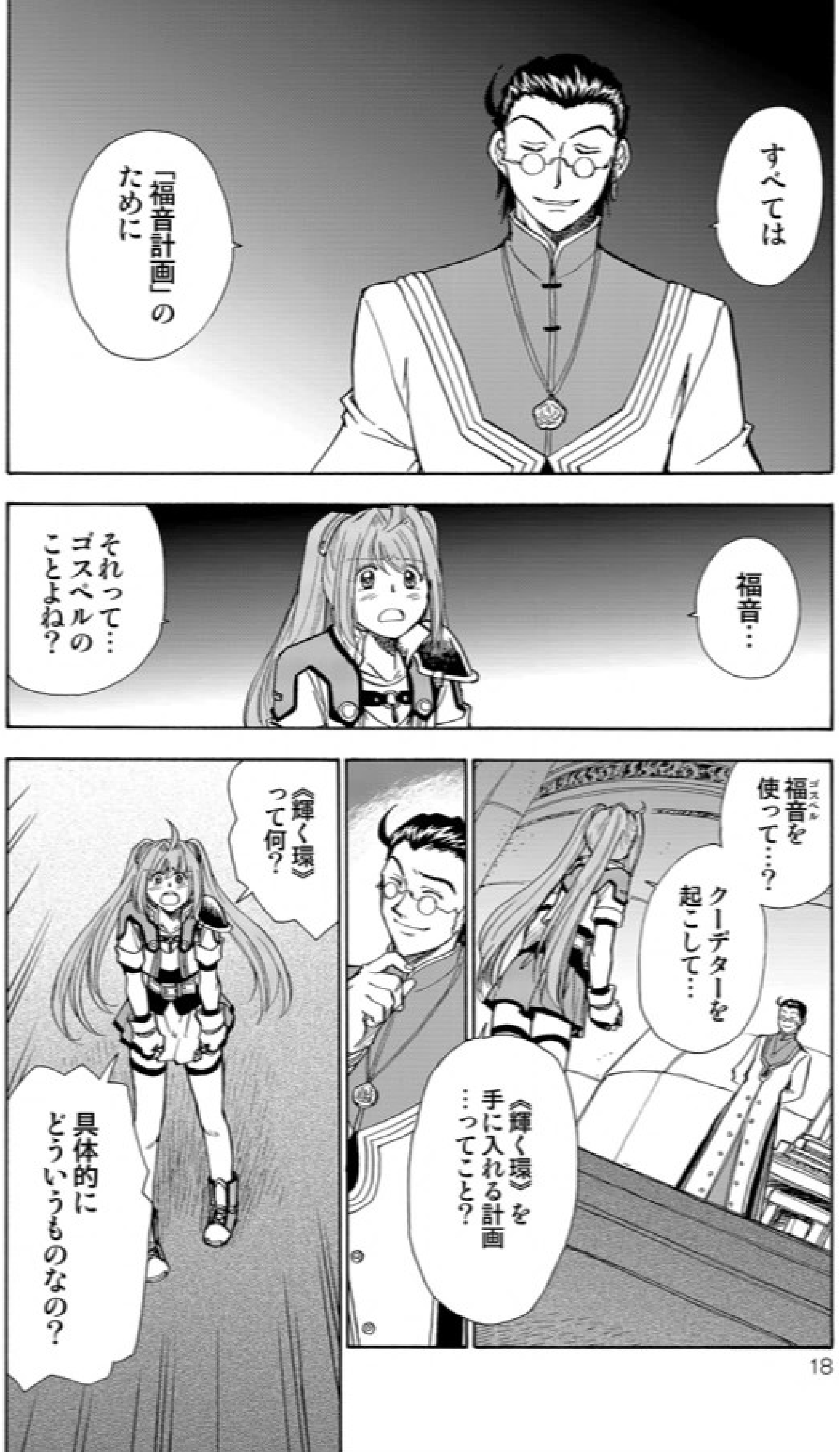
ずいぶんうなされてたようだけど
こわい夢でも見ちゃったの？
そ…そっか…
夢…だったんだ…
よかったぁ…
……
…って
ちょっと!!
どうしてレンがこんなところにいるのよ!?
別におかしいことじゃないでしょう？
ここは結社の拠点なんだもの
実はね
エステルにぜひ聞いてもらいたいお話があって
特別にここへ招待したのよ


それって…リベールのどこにあるの？
さあ？
今どの辺りにいるのかはレンにもわからないわ
一応忠告しておくけど
変な気は起こさない方が身のためよ？
一歩でも外に出ようものなら
エステル
確実に死んじゃうから
さて…と
ここが《聖堂》の入口よ
この先で《教授》が待ってるわ

ようこそ
《紅の方舟》
グロリアスへ

久しぶりだね
エステル君
…やっと…
思い出せた…
やっぱり
あなただったんだ
アルバ教授！
ほう…

軽くとはいえ
封印された記憶を
自力で思い出して
しまうとはね
さすがは
《剣聖》の娘と
いったところかな
ちなみに本当の名前は
ゲオルグ・
ワイスマンという
《身喰らう蛇》を管理する
《蛇の使徒》の一柱を
任されている
君とは一度
ゆっくり話してみたいと
思っていたのだよ
どうだろう
君も何か
聞きたいことは
あるかね？

《身喰らう蛇》を管理する
《蛇の使徒》?
それって…結社の最高幹部…
…ってこと?
リシャール大佐をそそのかしてクーデターを起こさせたのも
ゴスペルを使って各地で騒ぎを起こさせたのも
全部あんたのしわざだった…ってことなの?
どうして?
なんのためにそんなことをしているの?


すべては
「福音計画」のために
福音…
それって…ゴスペルのことよね?
福音(ゴスペル)を使って…?
クーデターを起こして…
《輝く環》を手に入れる計画…ってこと?
《輝く環》って何?
具体的にどういうものなの?

だが君の方こそ
一番聞きたい質問を尋ねていないのではないのかね？
ヨシュアは
どこにいるの？

それは現時点では秘密にさせてもらおう
せっかくの驚きを台無しにしたくはないからね
驚きって…
また何かするつもりなの!?
福音計画もすでに第3段階に移行した
もう少しでその正体が万人にあまねく知れ渡ることになる
その時を楽しみに待っていておきたまえ
…なによ
色々質問したって結局はぐらかしてばかりじゃない！
そうかね？
これは失礼

残念ながら それは私にも わからない
空賊たちと一緒に 何か画策している ようだが
いまいち動きが つかめなくてね
ヨシュアの能力は 隠密行動と 対集団戦に 特化されている
その方面で 彼を出し抜くのは ほぼ不可能だろう
そのように 調整したのは 私なのだが
予想以上の 仕上がりだった ようだ
まさか…
あんた…
ああ
そんな怖い顔を しないで くれたまえ
己の実験の結果を 気にかけるのは 研究者として 当然のことだろう?
実験… ですって?

なにぶん 崩壊してしまった心を 再構築するなど
私にも 初めての試み だったのでね
魔法使いによって 新たな心を 手に入れた 男の子は
人殺しに 作り変えられて しまいました
…生誕祭で すれ違った時
教授は ヨシュアとも会ったって 言ってたわよね…
あの時… ヨシュアに 何を 言ったの?
真実を 教えてあげた だけだよ

記憶が操作されたとも知らず
君の家に引き取られた彼が
無意識のうちにスパイとして結社に情報を送っていたこと
だから男の子は旅立つことにしました
そして彼の情報のおかげでクーデターが成功し
我々の計画の準備が整った事実をね
幸せな夢を見せてくれた人たちを
これ以上巻き込まないために
やっと
わかった
ヨシュアがどうして
あたしたちの前から姿を消したのか…
それについてはさすがに遺憾に思っているよ
そのまま君たちと暮せばいいと勧めておいたのだが
フフ
親切心が逆に仇となったかな?

ドン
よくも…
そんなことが言えるわね…
そんな道を選ぶしかないように
ヨシュアを追いつめたくせに…！
全部…
全部…っ!!
あんたのせいじゃないかぁっ!!

あうっ
ダンッ
ダンッ
ドオッ
け…
《剣帝》!?

どこから…
いつの間に…
最初から
皆
ここにいた
おまえが
気づかなかった
だけだ
あ…

うふふ
そんなにおびえなくても大丈夫よ
今日はエステルを殺すために
集まったわけじゃないんだから
ねぇ教授
早くエステルに例の話をしてあげて?
フフ
では本題に入るとしよう
エステル君
君にここへ来てもらったのはぜひ聞いて欲しい話があるからだ

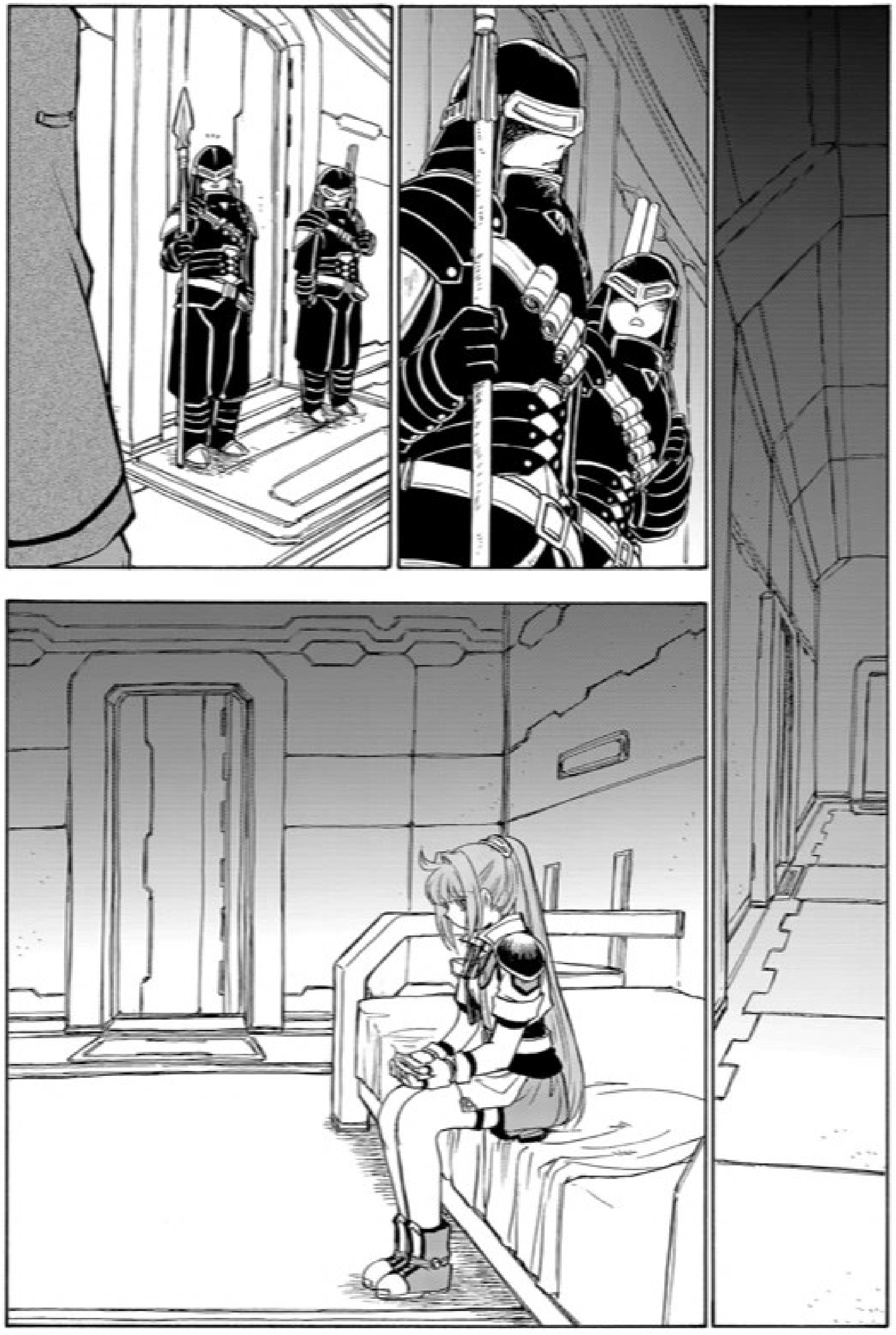
どうだろう?
エステル君
《身喰らう蛇》に
君も入ってみる気はないか?
……あ…
あんですって…?
君に我が結社の一員になってもらいたいと言っているのだよ

まずは執行者候補として…
だが丁重に迎え入れさせていただこう
どうだね？
君にとっても悪い話ではあるまい？
ふざけないで!! 誰がそんな話に…
思い出してみたまえ
君の目的は…なんだったかな？
ヨシュアと再会すること
…よね？
君が結社に入ればヨシュアも意地をはらずに戻ってくるだろう
君の望みはすぐにでも叶えられるというわけだ

馬鹿にしないで!!
ヨシュアが結社なんかに戻ってくるわけないじゃない!!
ほう？
どうしてそう言い切れる？
あたしは誰よりもヨシュアのことを知ってる!!
今までずっとヨシュアを見てきたんだから!!
そのヨシュアは
私が作ったものだがね

君といた
ヨシュアは
心を作り変えられ
記憶さえ封じられた
私の操り人形だ
そんなものを
見続けた君は
はたして
ヨシュアの何を
知っていると
言えるのかね？
ちっ
違…
で…でも…
あたしは……
まあ
今すぐ
決めろと
言うわけ
ではない

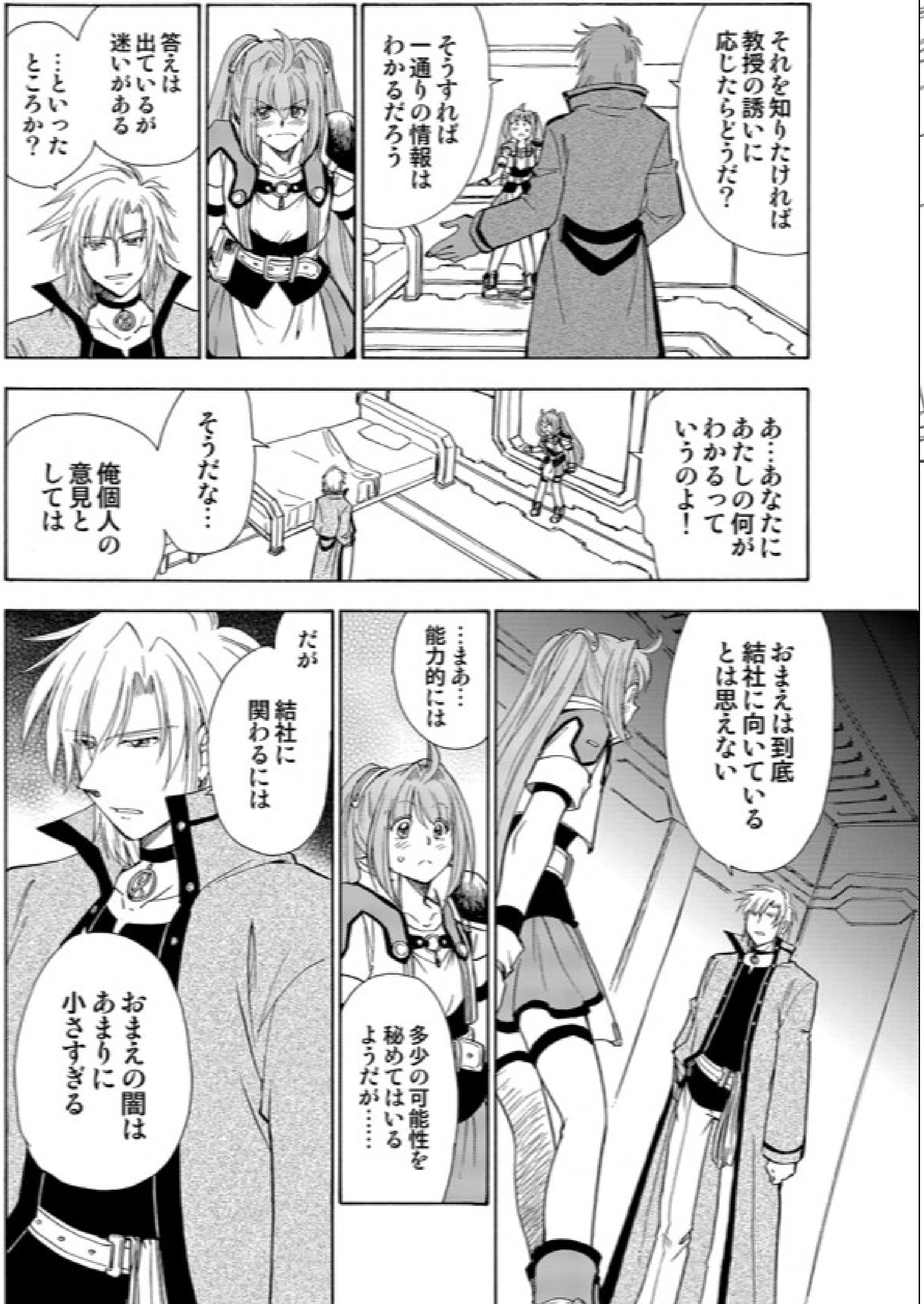
我々はこの後
しばらく艦を
留守にする必要が
あるのでね
帰ってきた
その時にでも
返事を聞かせて
もらうとしよう
それまで
ゆっくりと
考えて
おきたまえ



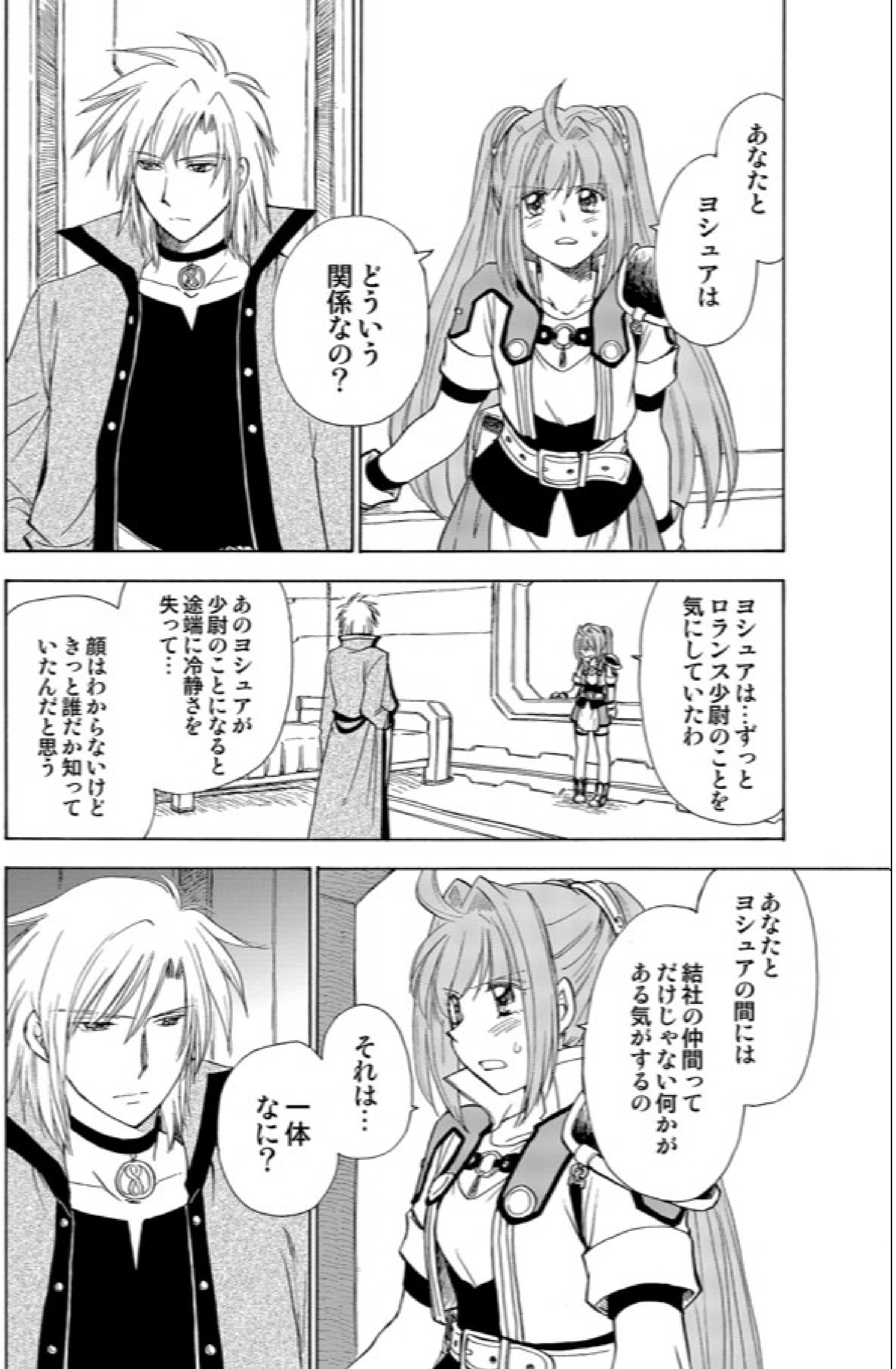
あたしが結社に入れば
ヨシュアと再会できる
…そうよね
何も本当に結社の人間になる必要はないのよ
このまま閉じ込められて身動きとれなくなるより…
仲間になったふりして内情を探ってみるほうが…

違う
違う
どうしてそんなことを考えちゃうの⁉
ヨシュアが戻ってくるわけない
ヨシュアはもう結社の人間なんかじゃないんだから!
…そうよ!
だって
あたしの知ってるヨシュアは
私が作った
人形だからね
ヨシュア
今あなたが知りたい
あなたの声をあたしに聞かせて
ヨシュア!
邪魔をするぞ
ヨシュア…

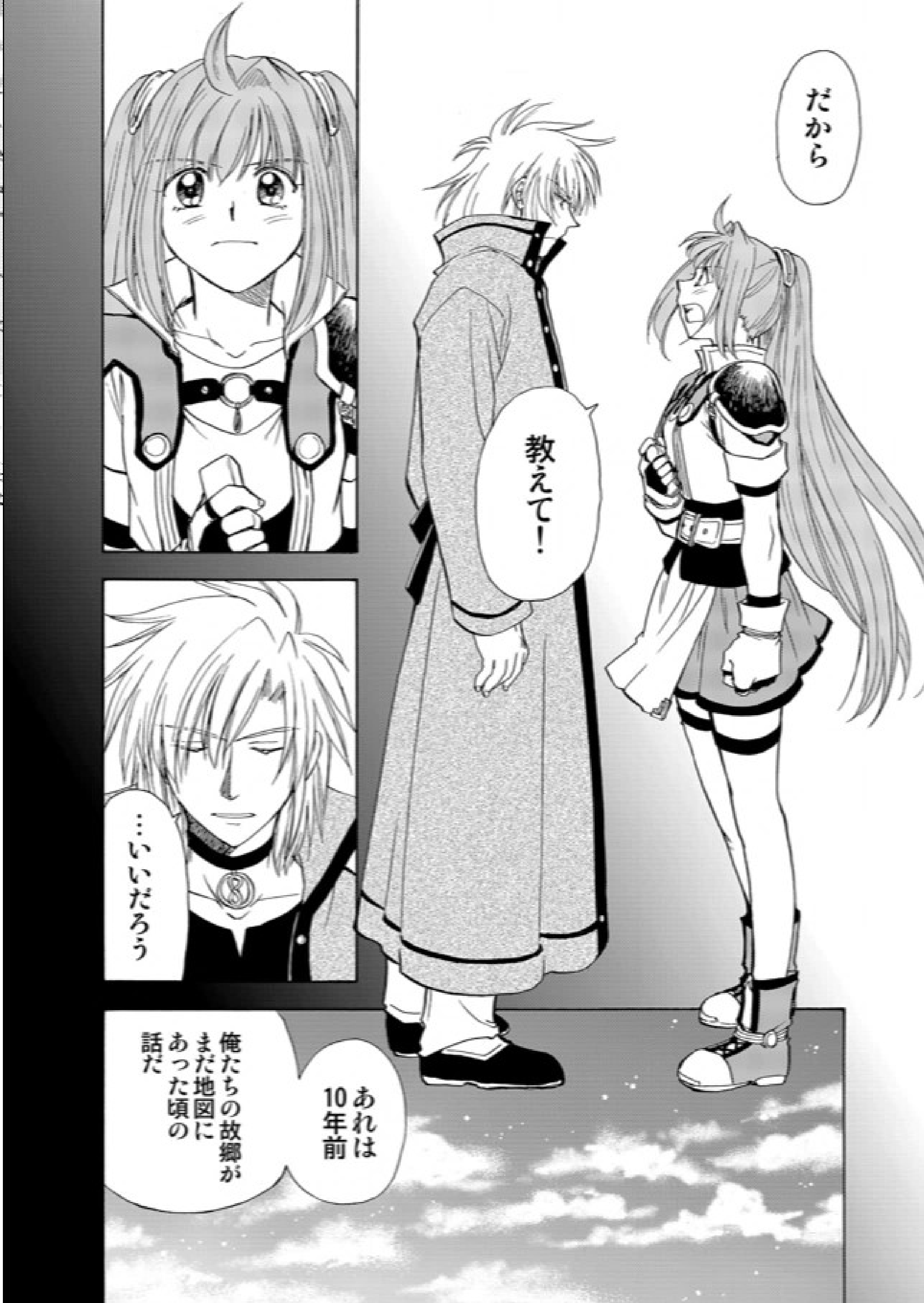
け…
《剣帝》!?
そう警戒するな
なによ！
どこかに出かけるんじゃなかったの!?
出かけるのは教授と俺以外の執行者だけだ
ほとんど全員じゃない
そんな大勢で何をするつもりなの!?


それを知りたければ教授の誘いに応じたらどうだ？
そうすれば一通りの情報はわかるだろう
答えは出ているが迷いがある
…といったところか？
あ…あなたにあたしの何がわかるっていうのよ！
そうだな…
俺個人の意見としては
おまえは到底結社に向いているとは思えない
…まあ…能力的には
多少の可能性を秘めてはいるようだが……
だが
結社に関わるには
おまえの闇はあまりに小さすぎる

闇？
結社に属する者は皆なんらかの闇を背負っている
俺や教授
他の執行者
そして無論ヨシュアもな
…ねえ
《剣帝》

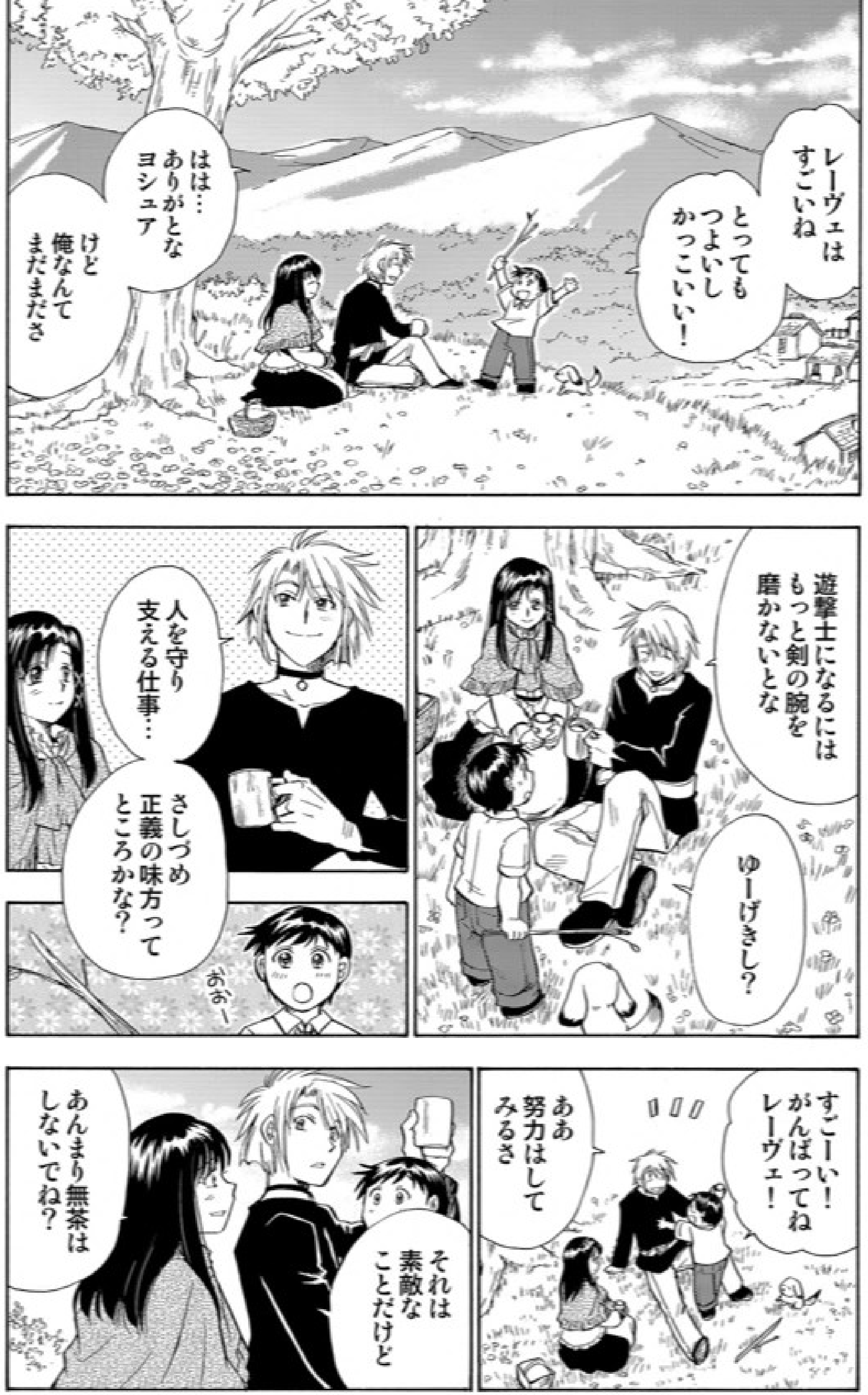

あなたとヨシュアは
どういう関係なの？
ヨシュアは…ずっとロランス少尉のことを気にしていたわ
あのヨシュアが少尉のことになると途端に冷静さを失って…
顔はわからないけどきっと誰だか知っていたんだと思う
あなたとヨシュアの間には結社の仲間ってだけじゃない何かがある気がするの
それは…
一体なに？

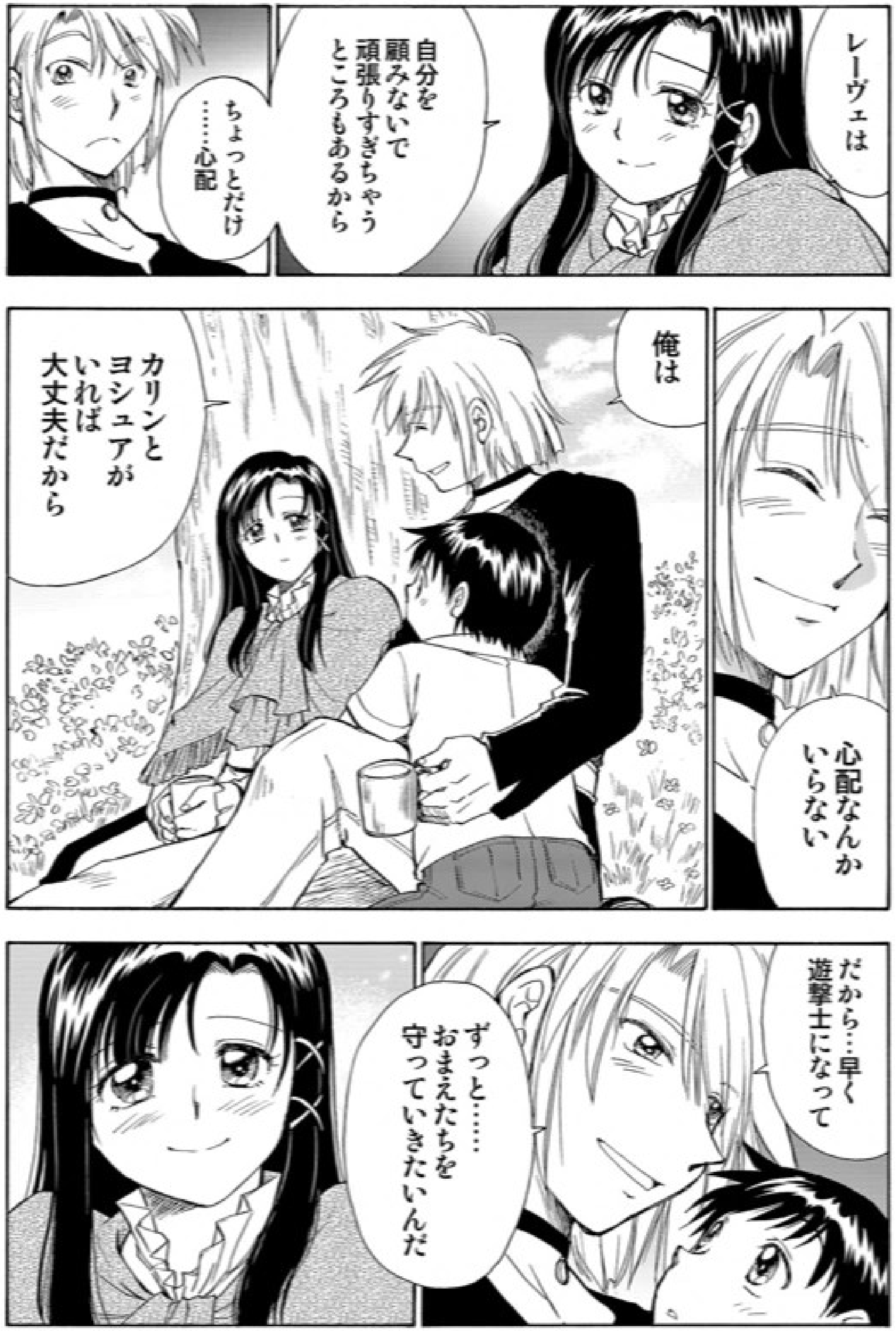
それを知ったら
おまえは真っ白なままでいられなくなる
それを知るということは
ヨシュアや俺たちのいる闇の領域をのぞきこむことになる
おまえに
その覚悟はあるのか
うん
あたしは
ヨシュアのたどってきた軌跡をどうしても知っておきたい
その気持ちだけは
本当だから…


だから
教えて！
…いいだろう
あれは10年前
俺たちの故郷がまだ地図にあった頃の話だ

エレボニア帝国とリベール王国の国境付近に
ハーメルという小さな村があった

わぁーっ
ぱちぱちぱちぱち
だめよヨシュア邪魔になるようなことしちゃあ…
あそっか ごめんねおねえちゃん
違う違う
私にじゃなくってね…
…よし!
今日の練習はこれで終わりだ
待たせたな
ヨシュア カリン
おつかれさまレーヴェ!
お茶の用意をするわね


レーヴェはすごいね
とってもつよいしかっこいい!
はは…ありがとなヨシュア
けど俺なんてまだまださ
遊撃士になるにはもっと剣の腕を磨かないとな
ゆーげきし?
人を守り支える仕事…
さしづめ正義の味方ってところかな?
おおー
すごーい!がんばってねレーヴェ!
ああ努力はしてみるさ
それは素敵なことだけど
あんまり無茶はしないでね?


レーヴェは
自分を顧みないで頑張りすぎちゃうところもあるから
……ちょっとだけ心配
心配なんかいらない
俺は
カリンとヨシュアがいれば大丈夫だから
だから…早く遊撃士になって
ずっと……おまえたちを守っていきたいんだ

じゃあぼくも!
ぼくもゆーげきしになって
おねーちゃんとレーヴェをまもってあげるよ!
まあっ。。。
ヨシュアまで遊撃士に!?
うーん
困ったなぁ…
そんなの絶対なれっこない私は
ふたりに何をしてあげられるのかしら…
だったらあれを聴かせてくれよ
あれ?
そう!あれ!
《星の在り処》!

そんな日々がいつまでも続く
そう俺たちは信じて疑わなかった
あの日
突然
ハーメル村が襲われるまでは

火事…かしら?
大変…!
人手が必要かな…
行ってみようレオンハルト
うん!

だけど
どうして
こんな火の気のないところで
火事なんて…

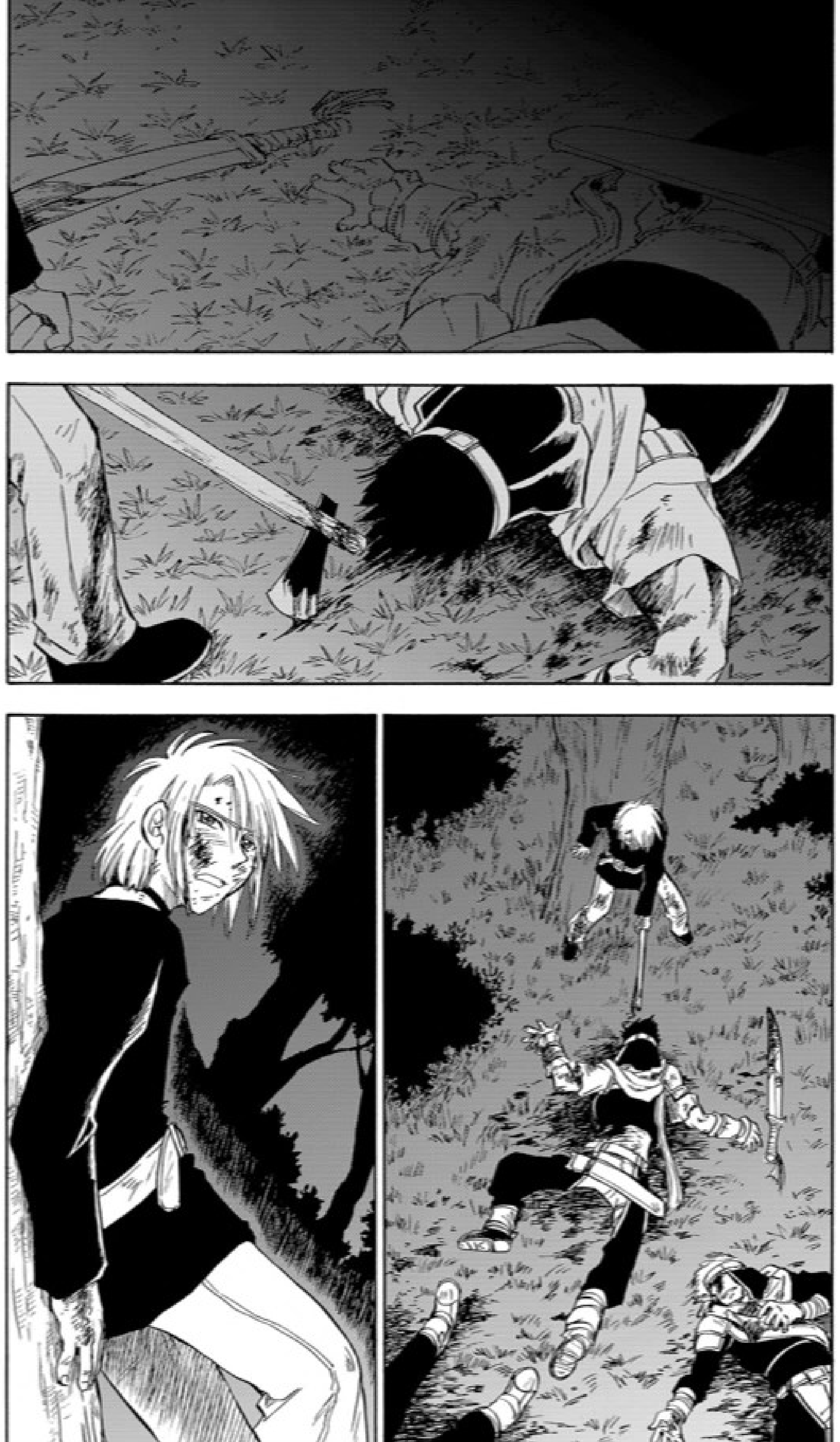
え…
トム おじさん?
ど… どうしたん ……
きゃあ
ターン
ぎゃあああ
いやあああ
レオンハルト!!

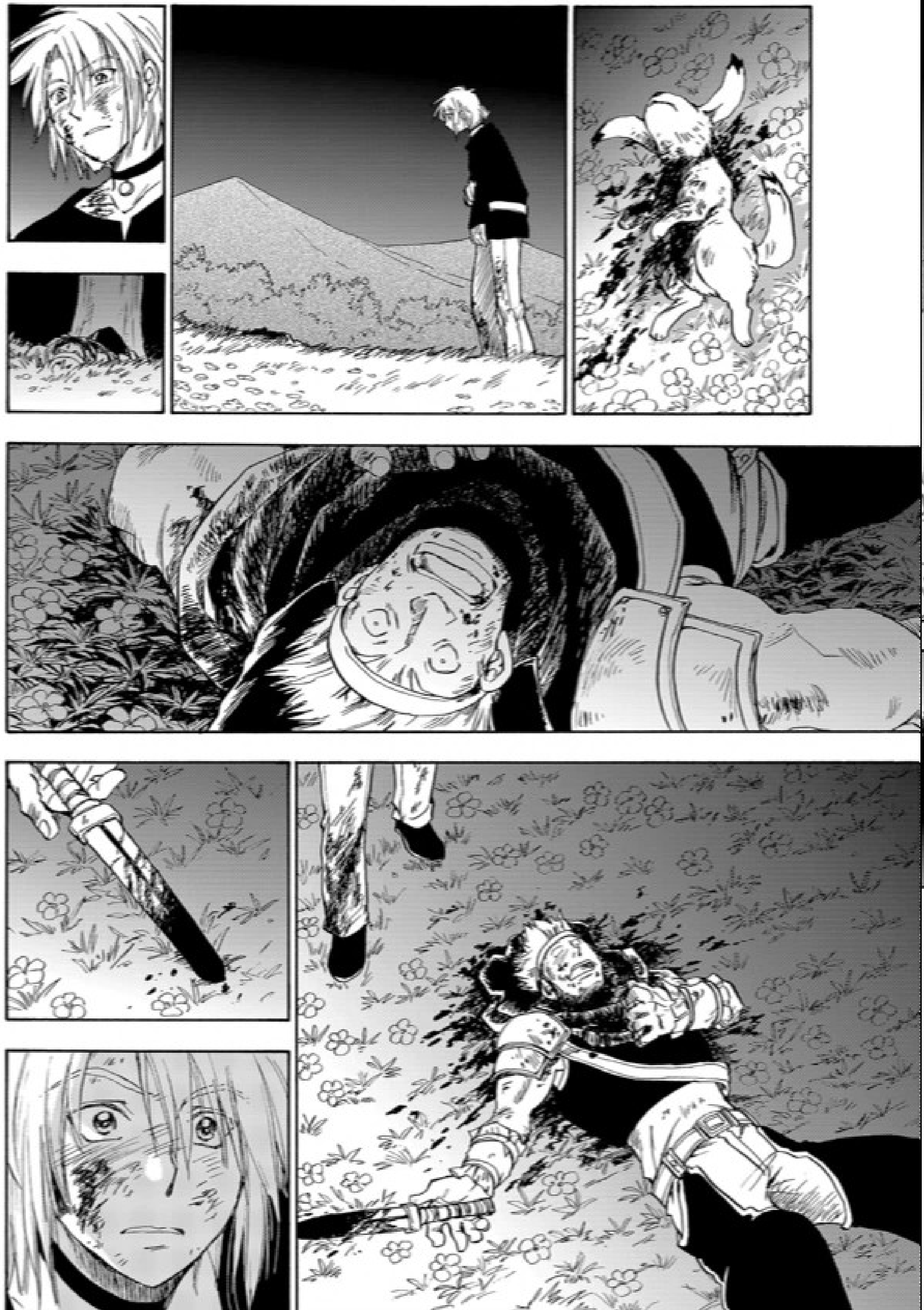
父さん！母さん！
これはいったい…
母さん…！
母さん!!
レオンハルト!!
逃げろ!!
逃げろ!!
ぎゃあっ
あ
あ
あ…
いったい何が…
いったい何が起きてるんだ
…俺は…

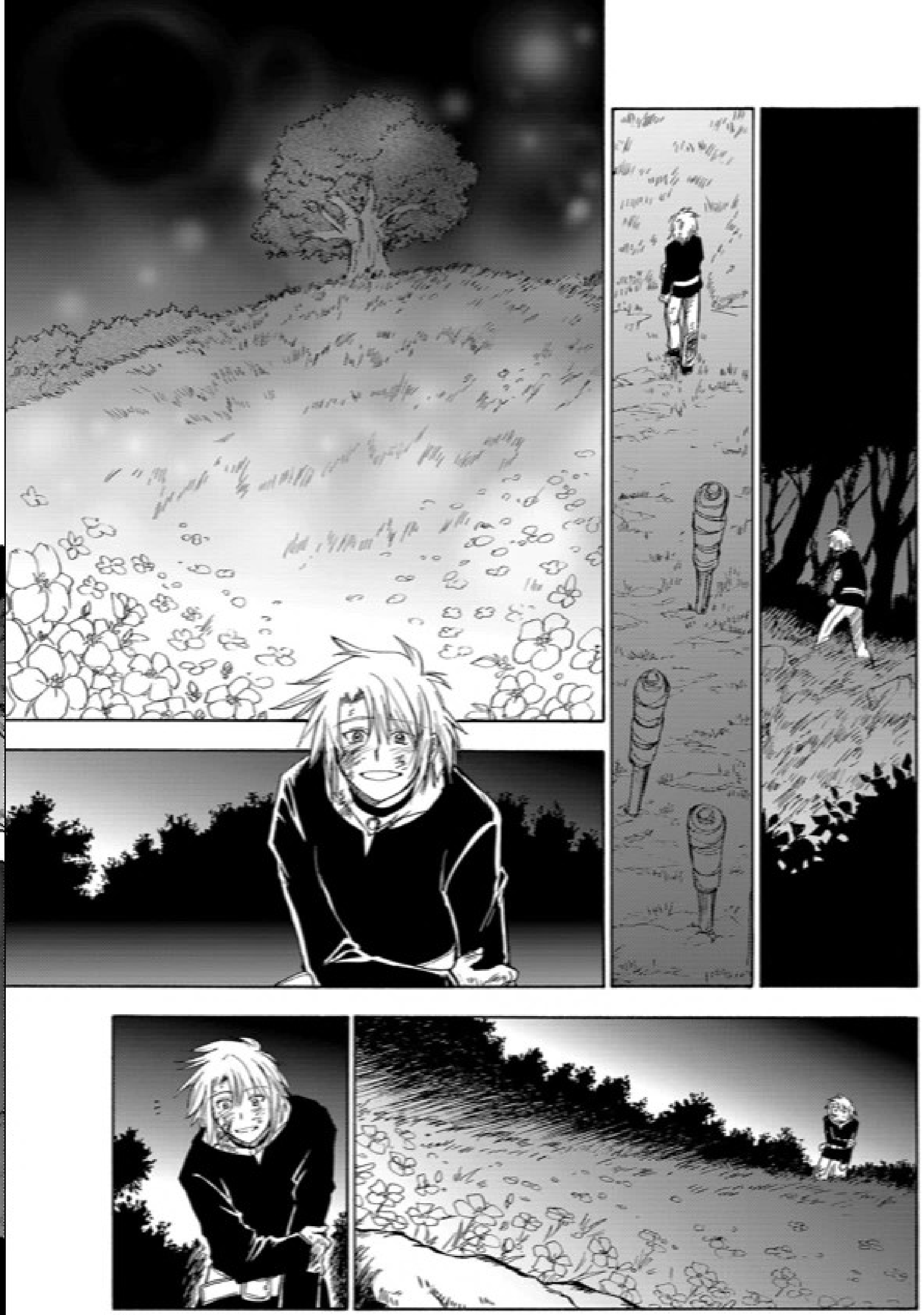
…カリン！
ヨシュア！
どこだ!!
カリン！
ヨシュア！
レーヴェ…？
レーヴェ…ッ
レーヴェ…！
おとうさんと
おかあさんが…
俺は
せめてこのふたりだけは
ふたりを守る！

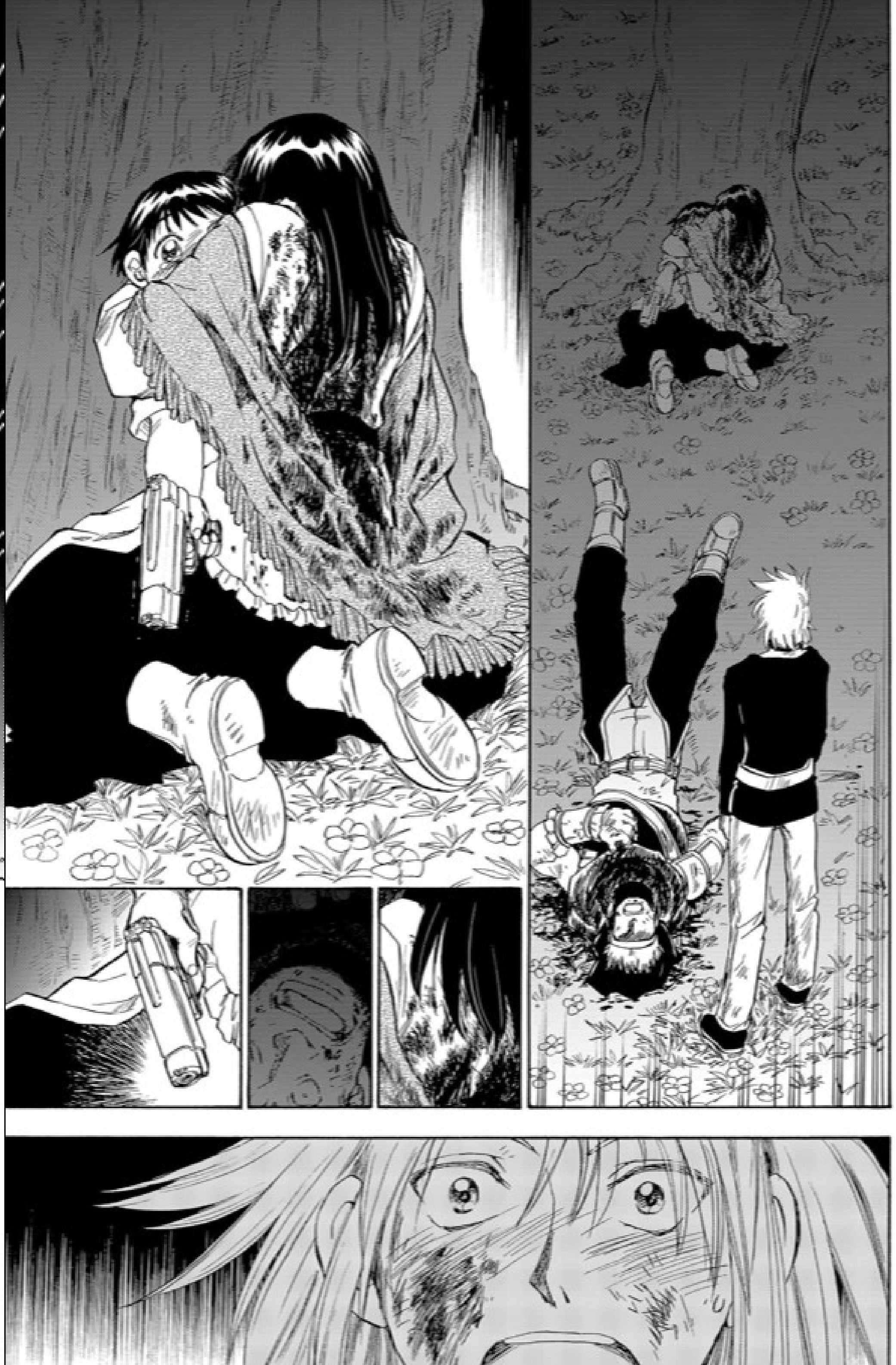
あああん
頑張って ヨシュア
もう少しで 村の外だから
聞こえたか!?
ああ！ まだ 残ってたか

村の奴らは
ただ一人の例外もなく
殺せ!!
カリン！ここは俺が食い止める！
ヨシュアを連れて先に行ってくれ!!
レーヴェ！
だめよ！
いつもの木の下で…！
すぐに追いつくから!!



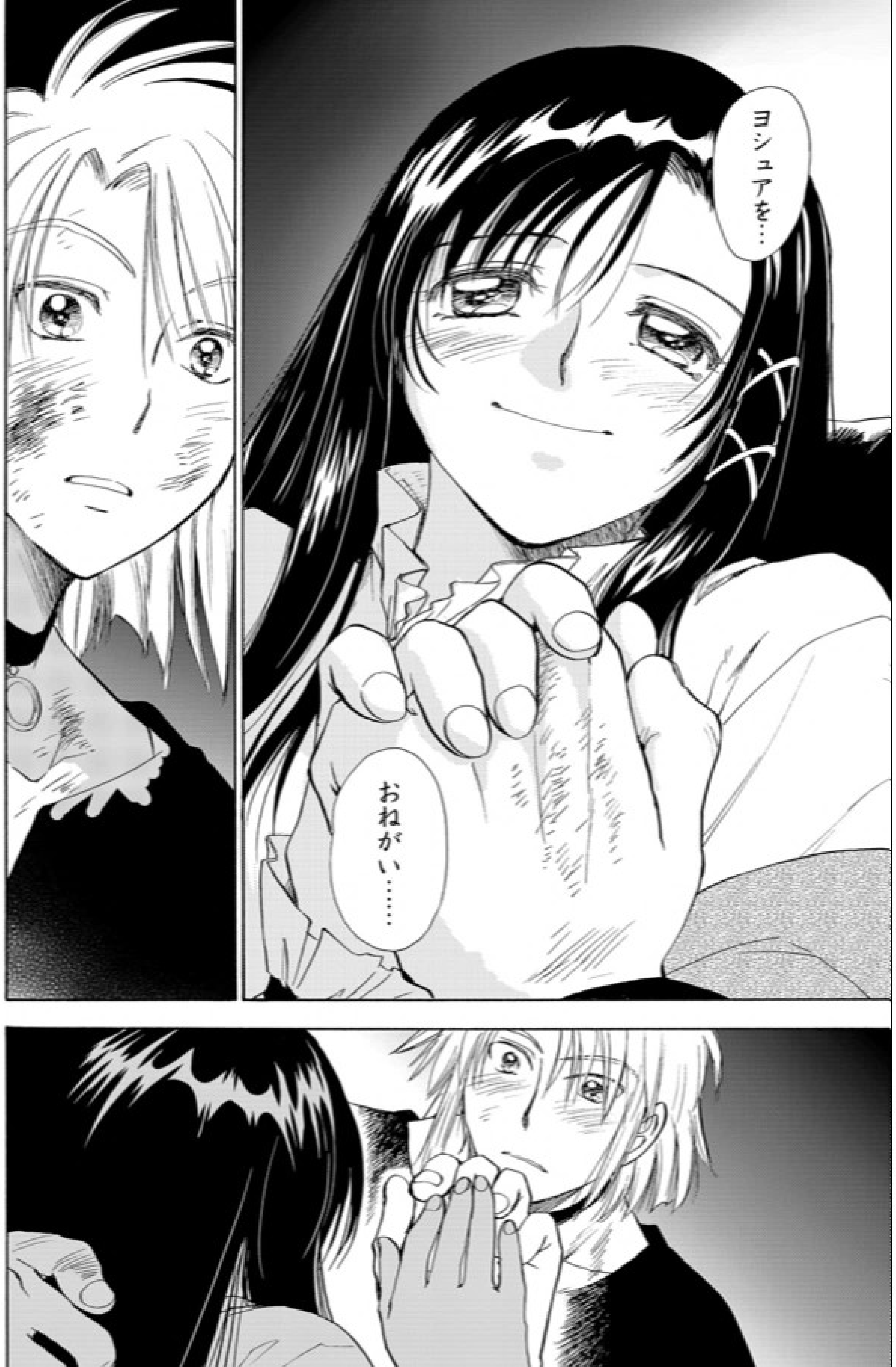




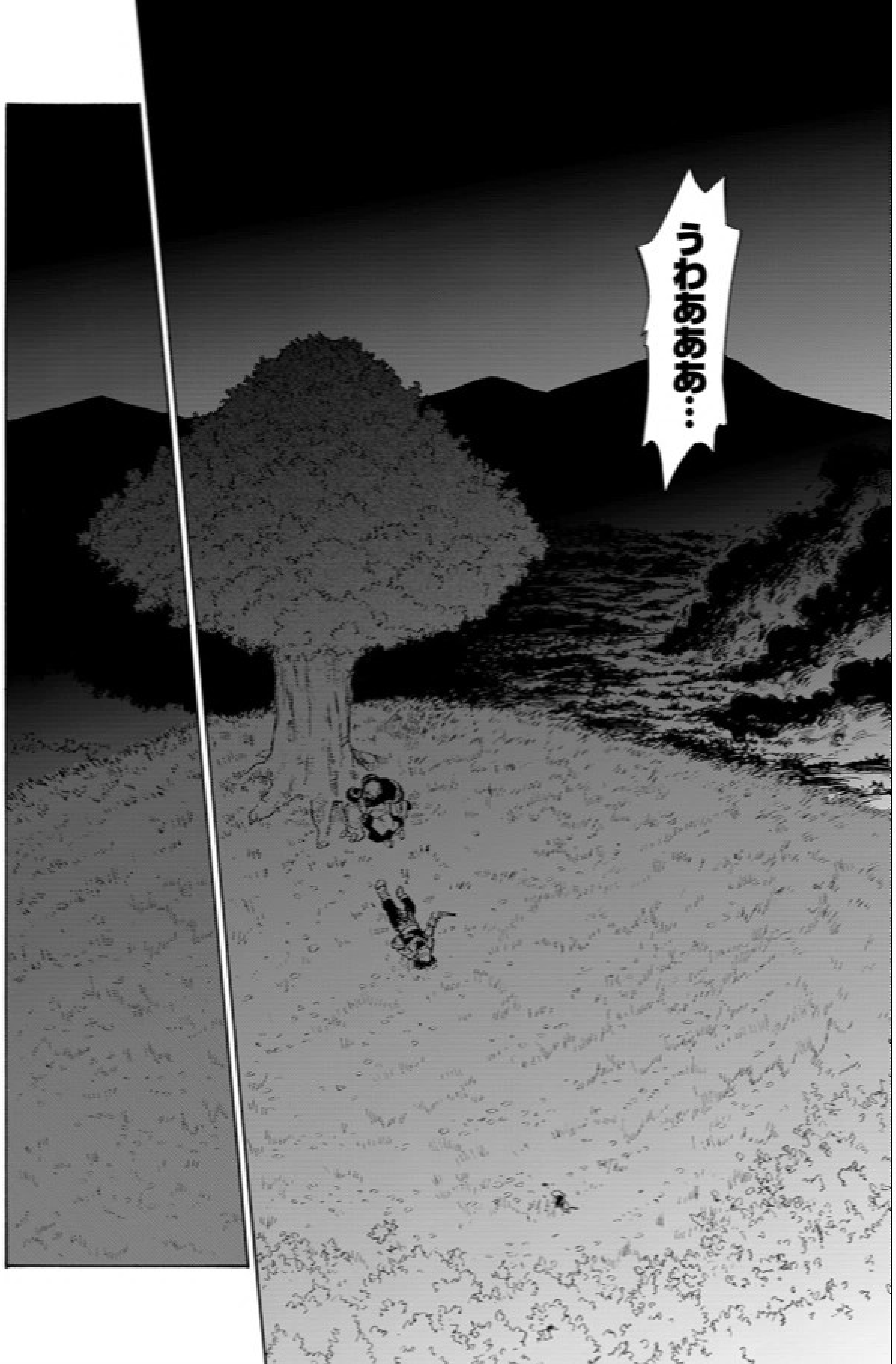


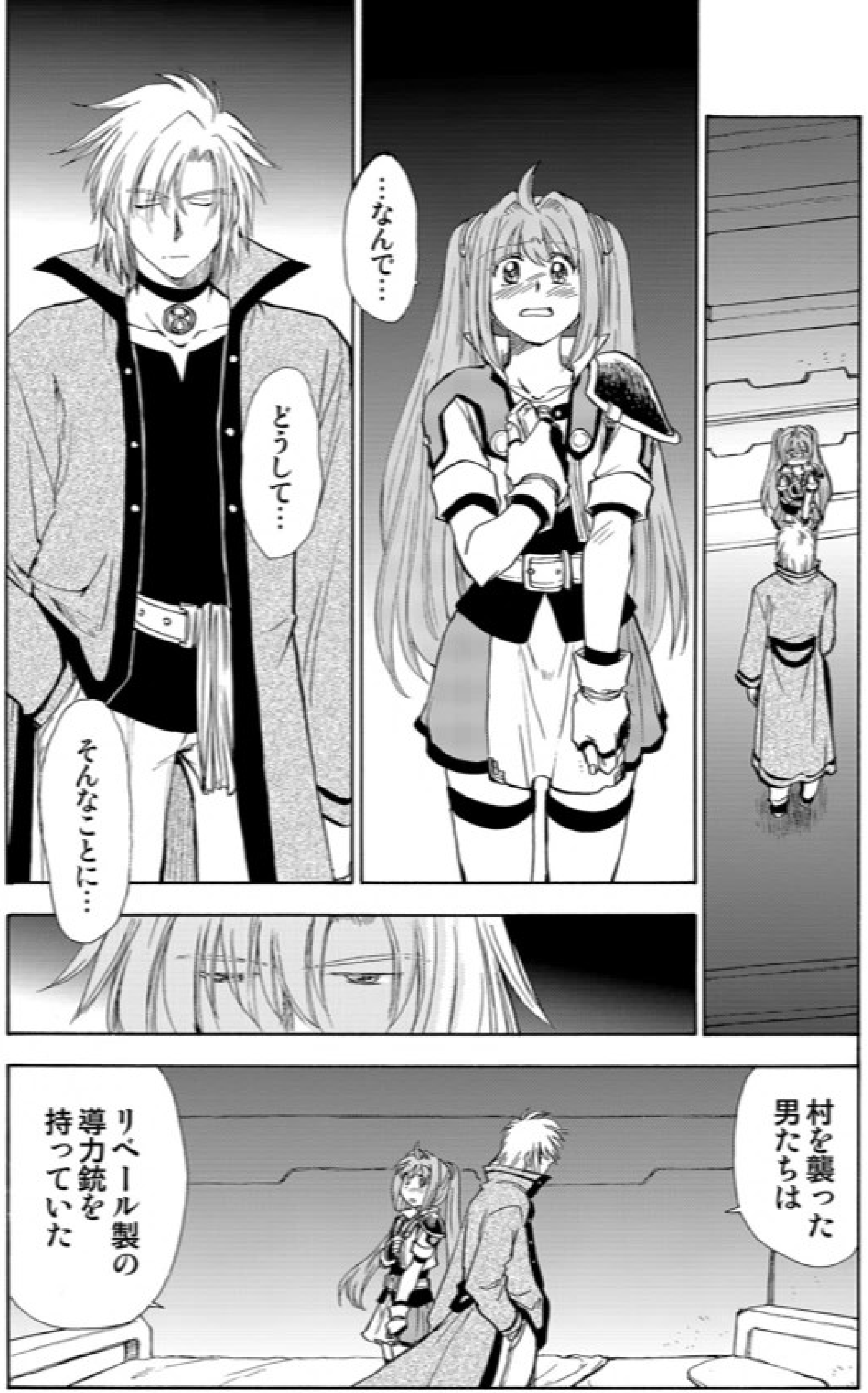
ヨシュアー！
カリン！
カリン！
カリン！
しっかりしろ!!
おねえちゃん…
…ヨシュア…
…逃げて…
カリン！
すまない…
俺がもっと早くここに来てれば…
…レーヴェ…

ああ…
よかった…
ヨシュア…
大丈夫よ…
すっ
もう…大丈夫…
大丈夫なんかじゃないんだ!!
しゃべるなカリン!!
今すぐ手当てを…
レーヴェ…

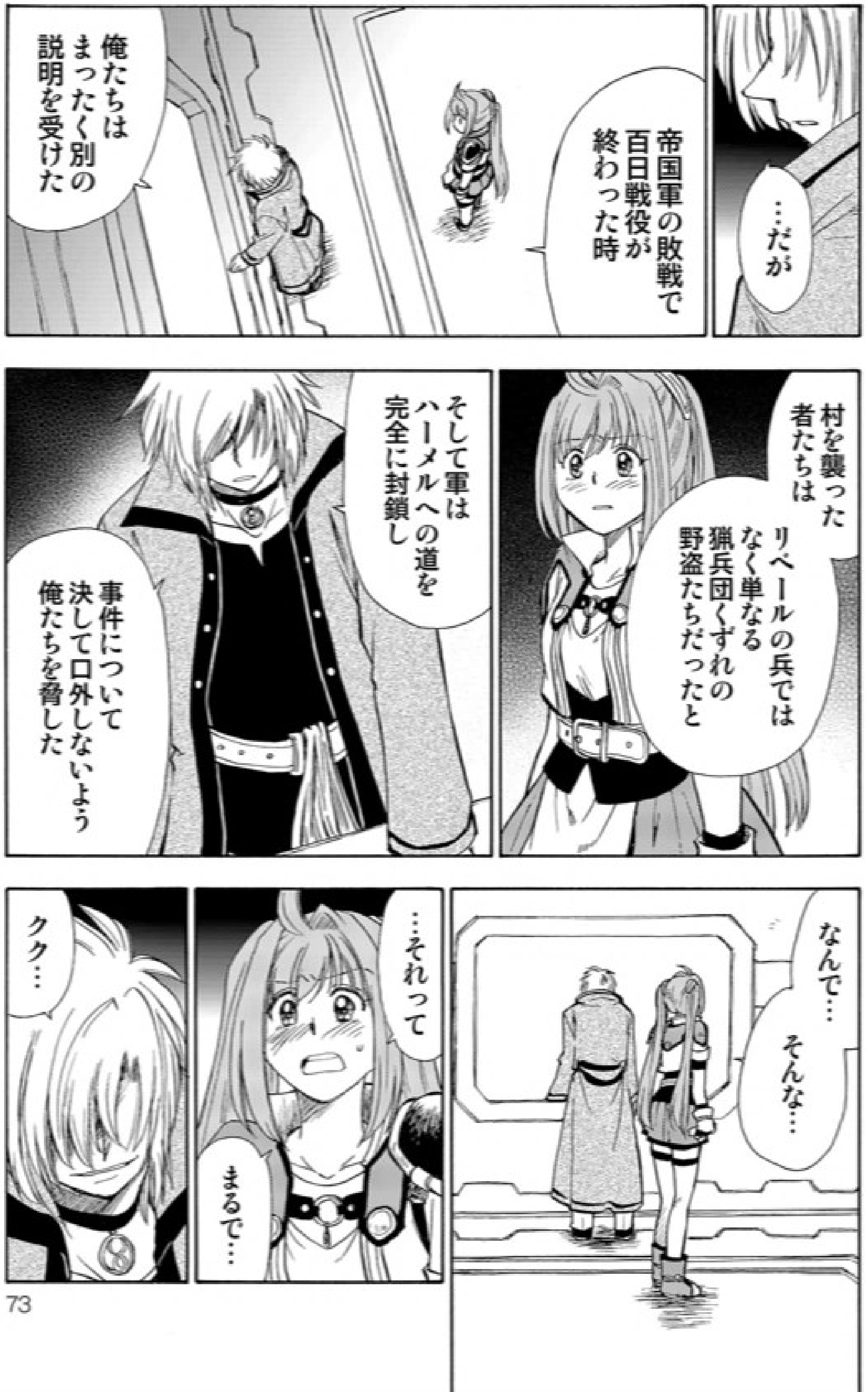

ヨシュアを…
おねがい……

…カリン…
…カリン！


うわあああ…


…なんで…
どうして…
そんなことに…
村を襲った男たちは
リベール製の導力銃を持っていた

え!?
王国製の銃を携えた襲撃者によって起こされた帝国領内での惨劇…
それは帝国が侵略戦争を始める格好の口実だった
その直後エレボニア帝国はリベール王国に侵攻を開始する
10年前の戦争…百日戦役はこうして始まったんだ
そんな…!
それは本当にリベールの兵隊だったの!?
俺たちは帝国軍からそう聞かされていた

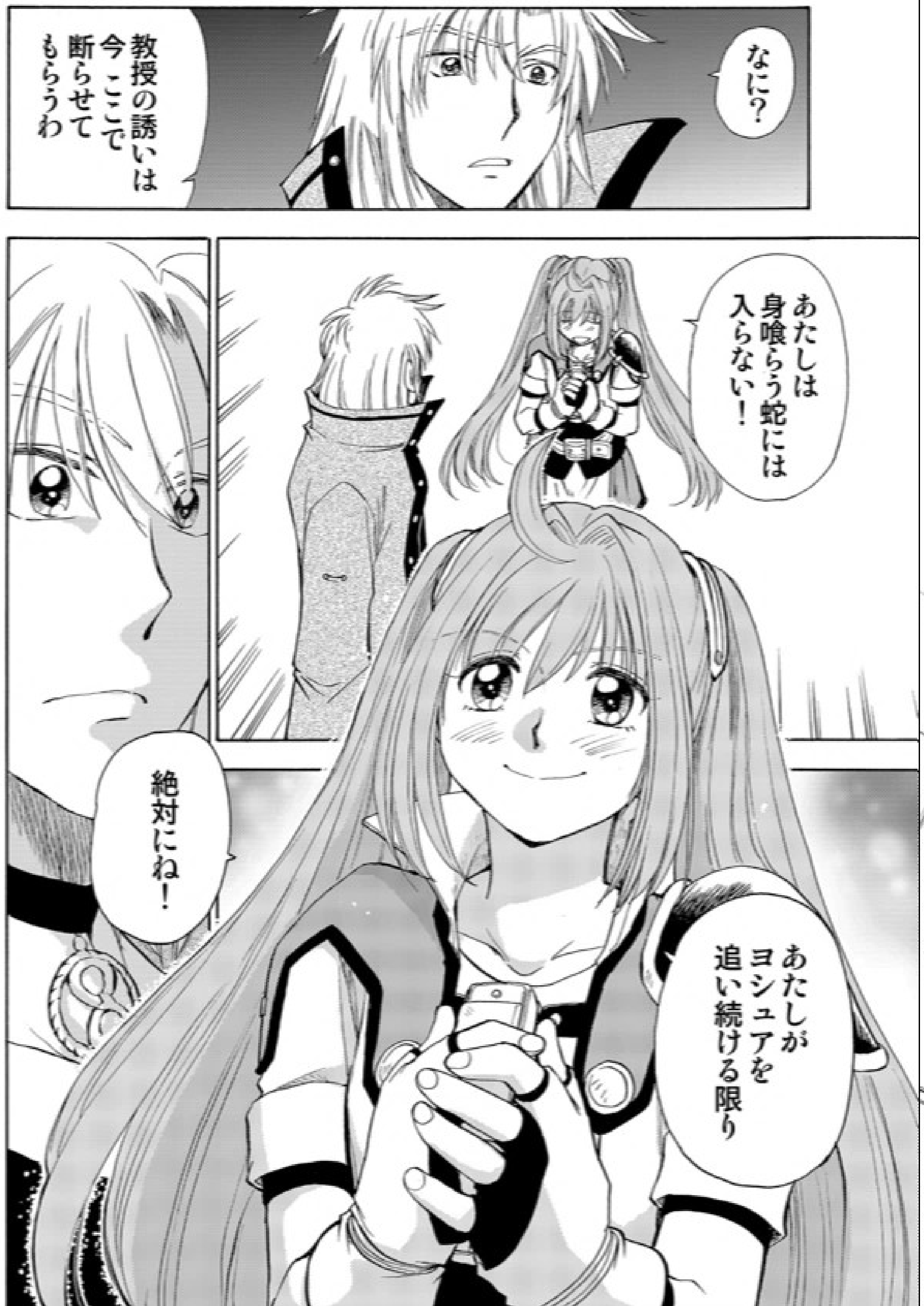

…だが
帝国軍の敗戦で百日戦役が終わった時
俺たちはまったく別の説明を受けた
村を襲った者たちは
リベールの兵ではなく単なる猟兵団くずれの野盗たちだったと
そして軍はハーメルへの道を完全に封鎖し
事件について決して口外しないよう俺たちを脅した
なんで…
そんな…
…それって
まるで…
クク…

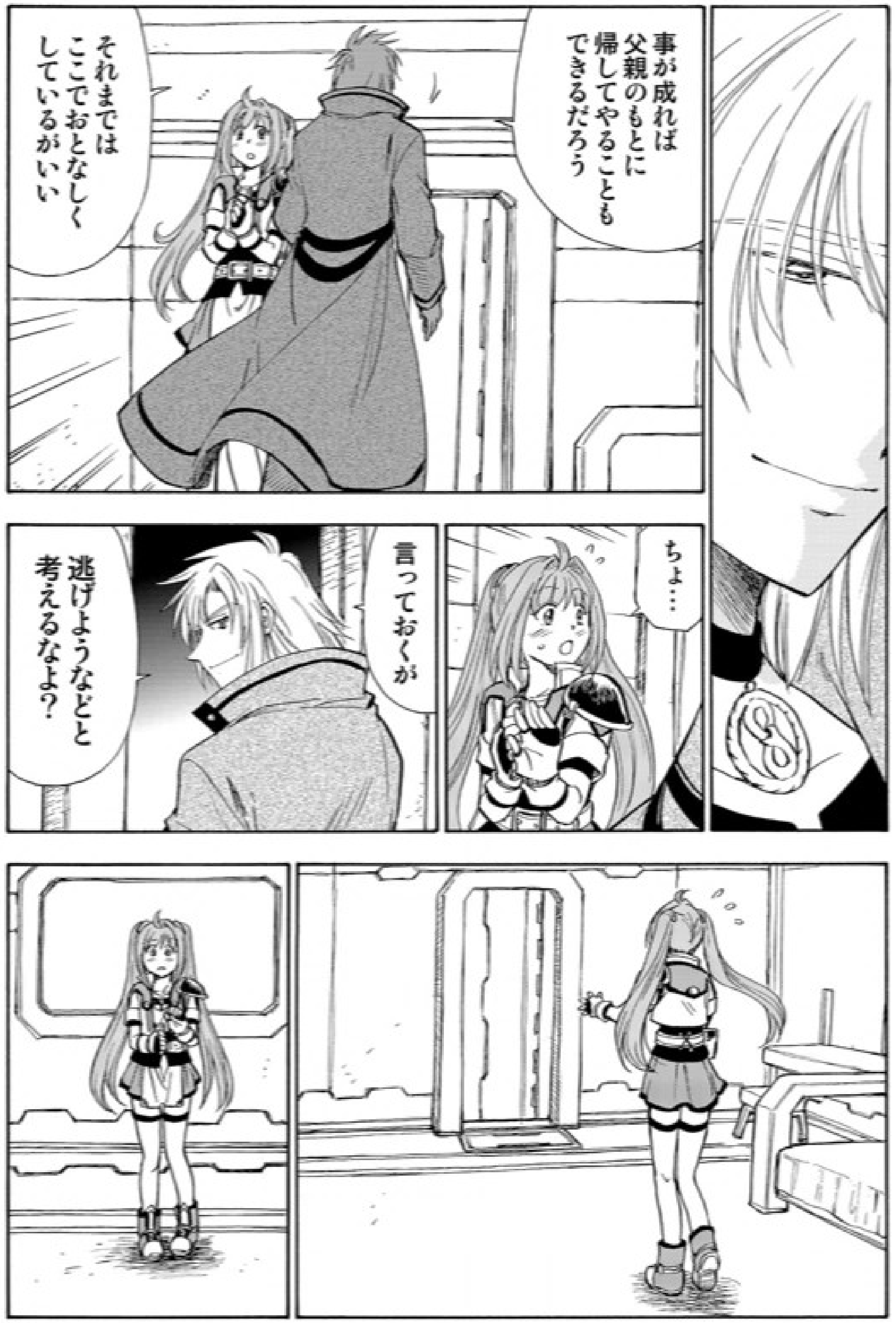
すべては帝国が企てた
リベールを侵略するためのシナリオだったというわけだ
他国に戦争をしかけるためだけに
自国の
何の罪もない村人たちを惨殺し
しかし自作自演が露見するや否や
なりふりかまわず己の汚行をなかった事にした
これが
「ハーメルの悲劇」の真相だ
け…
剣帝…

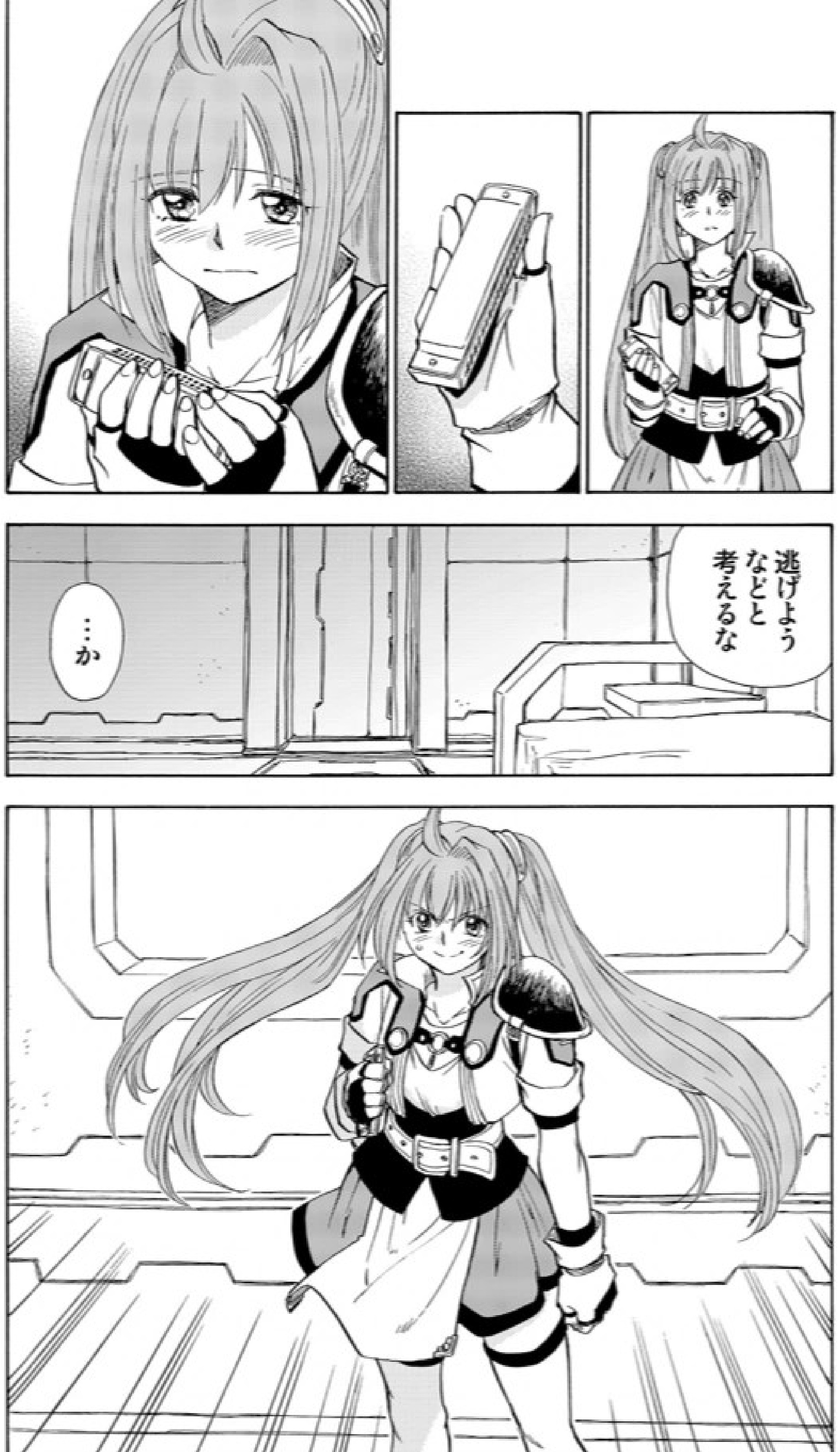
…そんな日々の中で
ヨシュアの心は完全に壊れてしまった
言葉を失い表情も消え
ハーモニカ以外の一切に興味をなくし
ただただ痩せ衰えていくだけだった
そんなヨシュアと俺の前に
あのワイスマンが現れて…
俺は彼にヨシュアを預けて身喰らう蛇に身を投じた
そしてその2年後
ヨシュアも俺と同じ道を辿ることになる

これが闇だ
エステル・ブライト
おまえとヨシュアの間にどんな断絶があるのか
理解できたか?
…うん
あの…
剣帝…

ありがとう
ヨシュアの過去を教えてくれて
あなたにとっても…つらい過去を
ちゃんと話してくれて…
…おかげでやっと…
すべてが見えてきた気がする


教授の誘いは今ここで断らせてもらうわ
なに?
あたしは身喰らう蛇には入らない!
絶対にね!
あたしがヨシュアを追い続ける限り


事が成れば父親のもとに帰してやることもできるだろう
それまではここでおとなしくしているがいい
ちょ…
言っておくが
逃げようなどと考えるなよ?


逃げようなどと考えるな
…か

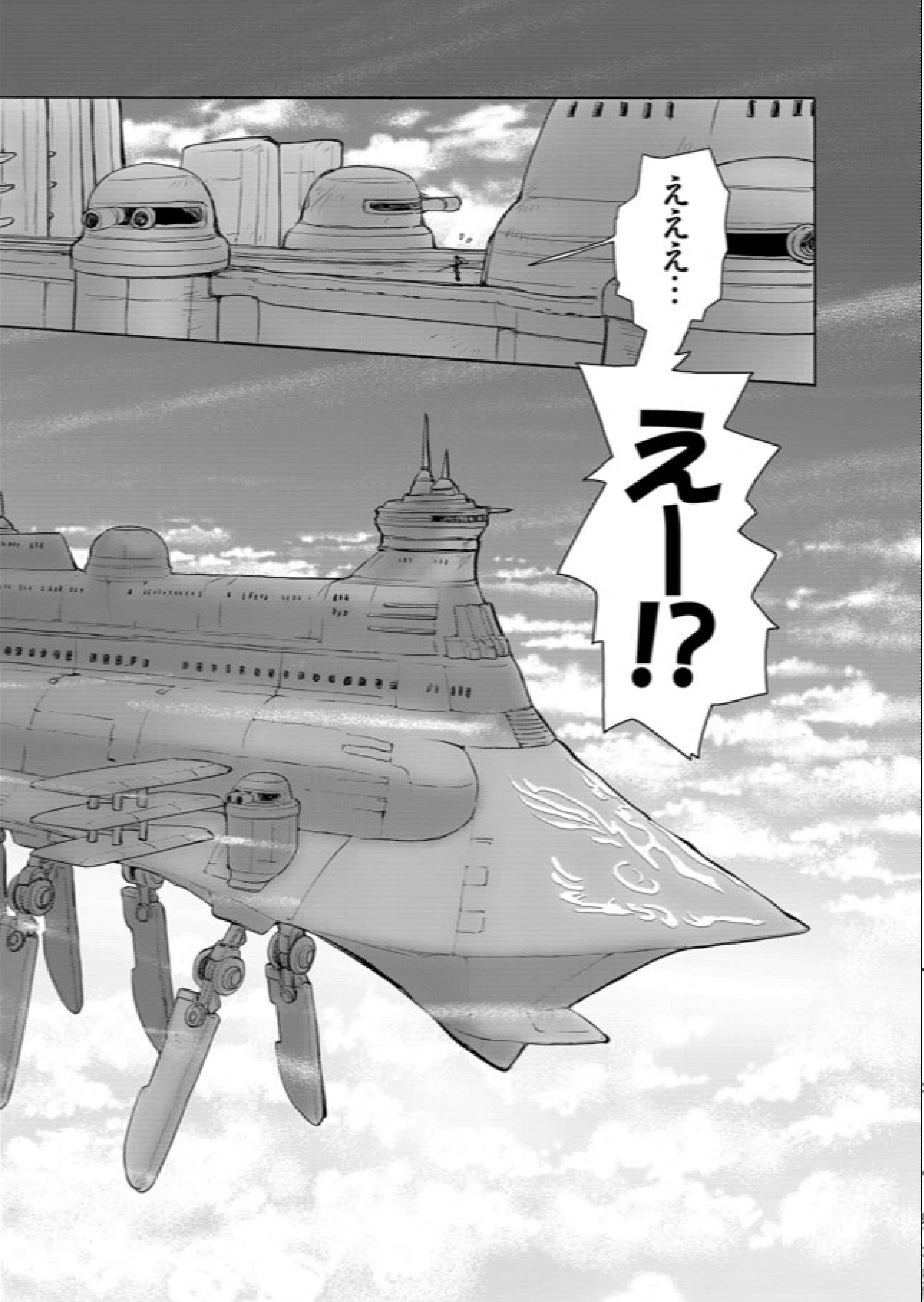
ぐあしゃ
今の音…
まさか窓から逃げようとしてるんじゃ…
ばっ馬鹿なことを!
ここをどこだと思って…

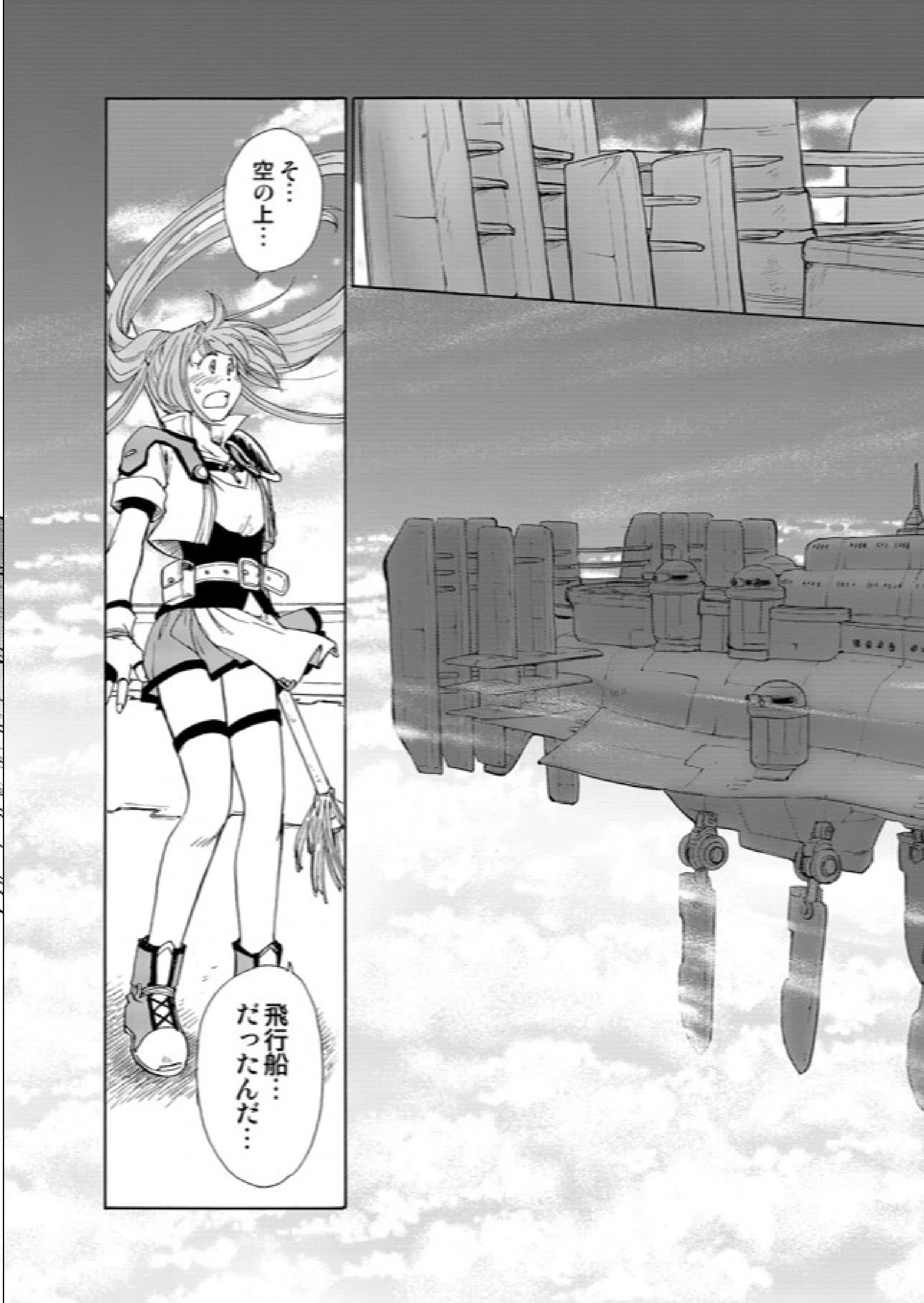
せいっ!!
ばこーん!
きっ貴様…!
ぱし!
はーっ!!

この建物って
敷地は広そうだけど
高さは二・三階建って
感じなのよね
だったら
出口を探して
動き回るよりも
いっそ

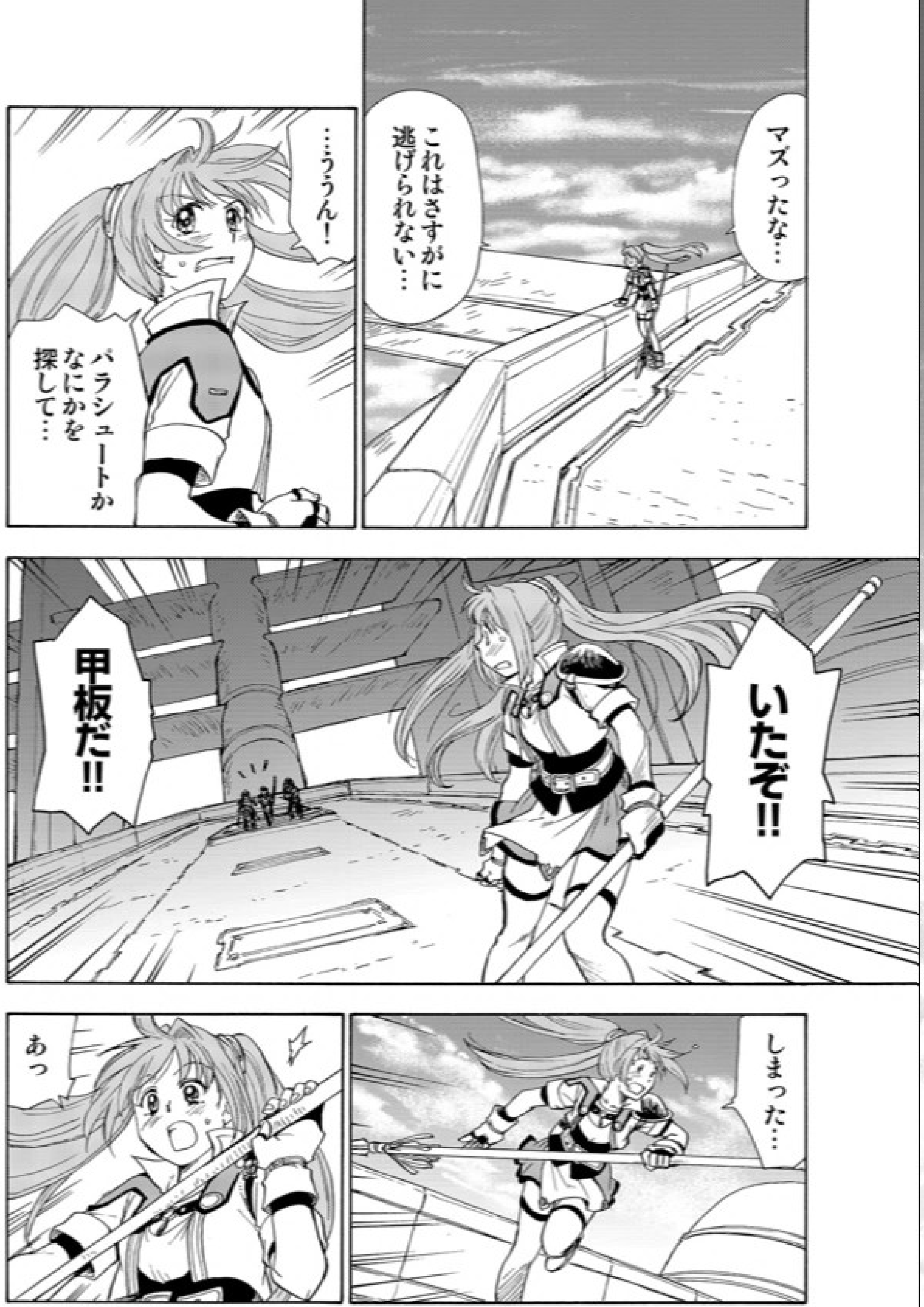
よし！
あたしは
諦めない
もう一度
ヨシュアに
会うまでは
絶対に
諦めない
んだから！

上へ
屋上から外に出れば
ここから脱出できるかも
わ!?
え…
ええ…


えええ…
えー!?



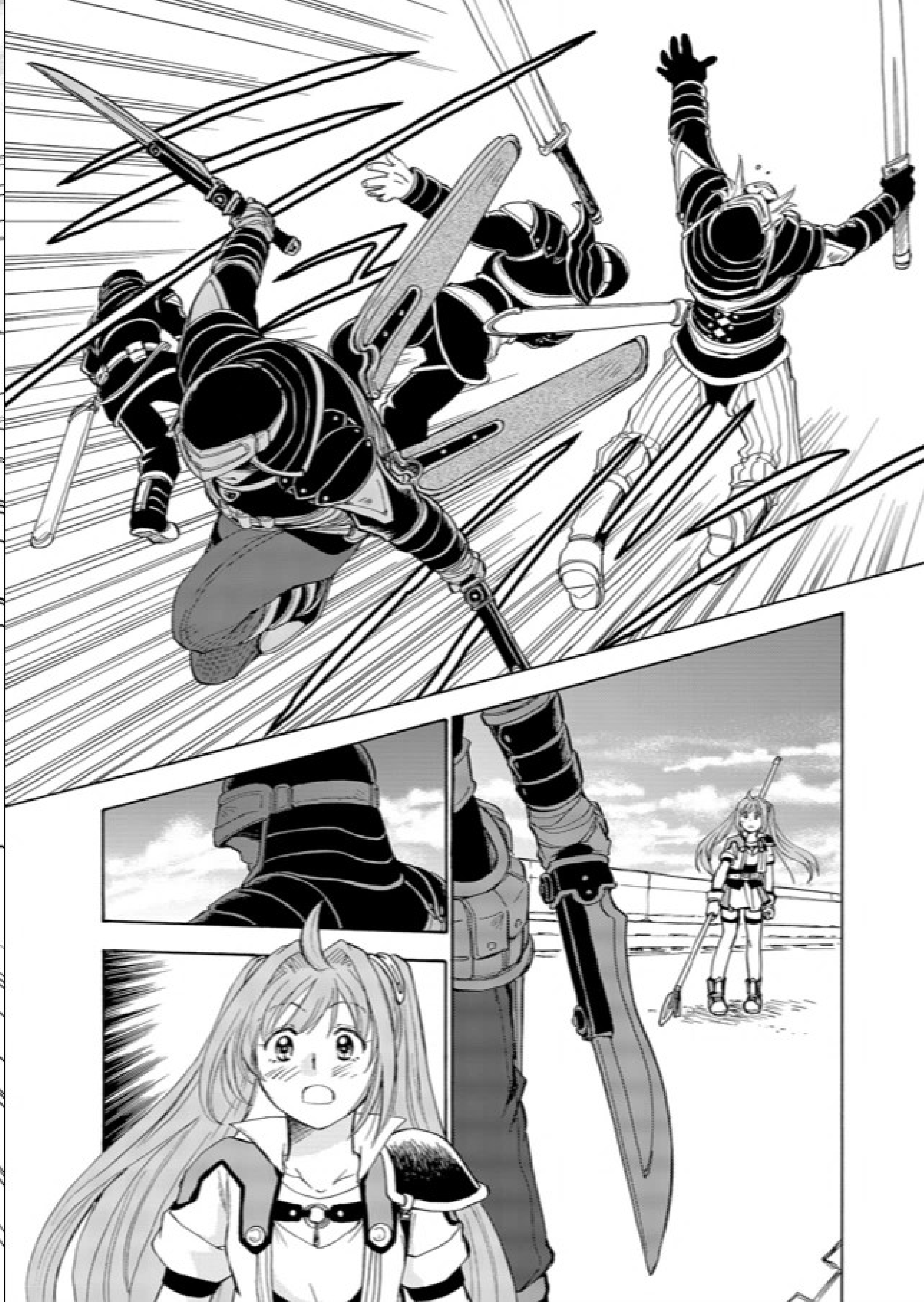
そ…
空の上…
飛行船…
だったんだ…



マズったな…
これはさすがに
逃げられない…
…ううん!
パラシュートか
なにかを
探して…
いたぞ!!
甲板だ!!
しまった…
あっ

く…っ
抵抗しても無駄だ!
おとなしく投降するがいい!
ふん…だ!
雑魚になんか負けるもんですか!
さあ!
かかってきなさいよ!!

まったく
あいかわらず無鉄砲なんだから
へ…



ま…
まさか…
ようやく姿を現したか
ヨ……

け…《剣帝》…!
まさかあたしがここに来るのを予測して…
この方舟に潜入していることは予想していたが
それだけでは隠れているおまえを見つけ出すことなど不可能だろうからな
だが
隠形というものは一度認識されたら終わりだ

おまえは最大の武器を失った
さぁ この《剣帝》相手にどうやりあうつもりなんだ?
さすがに…
レーヴェと剣を交えて勝てるとは思ってないよ
ならば なぜ
この場に現れた?

守るなら守る
切り捨てるなら切り捨てる…
そう徹底しろと教えたはずだ
…だったら
レーヴェはどうなの?
……僕を切り捨てたあとも…
どうして《結社》に残って教授の手伝いなんかしているのさ…?
それは本当は
僕だけが払うべき代償のはずなのに…!

俺の行動はおまえの件と一切関係がない
だけど
俺が《結社》に残っているのはあくまで俺自身の望みのためだ
レーヴェの望み…
それってカリン姉さんの…
復讐をしたところでカリンはもう戻ってはこない…
だから俺は世界を試すことにした
それが俺が教授に協力している理由だ
世界を試す…
おしゃべりはここまでだ

おまえの選択肢は3つある
娘と共に投降するか
娘を守ってここで果てるか
娘を見捨てて一人逃れるか
さあ
選ぶがいい

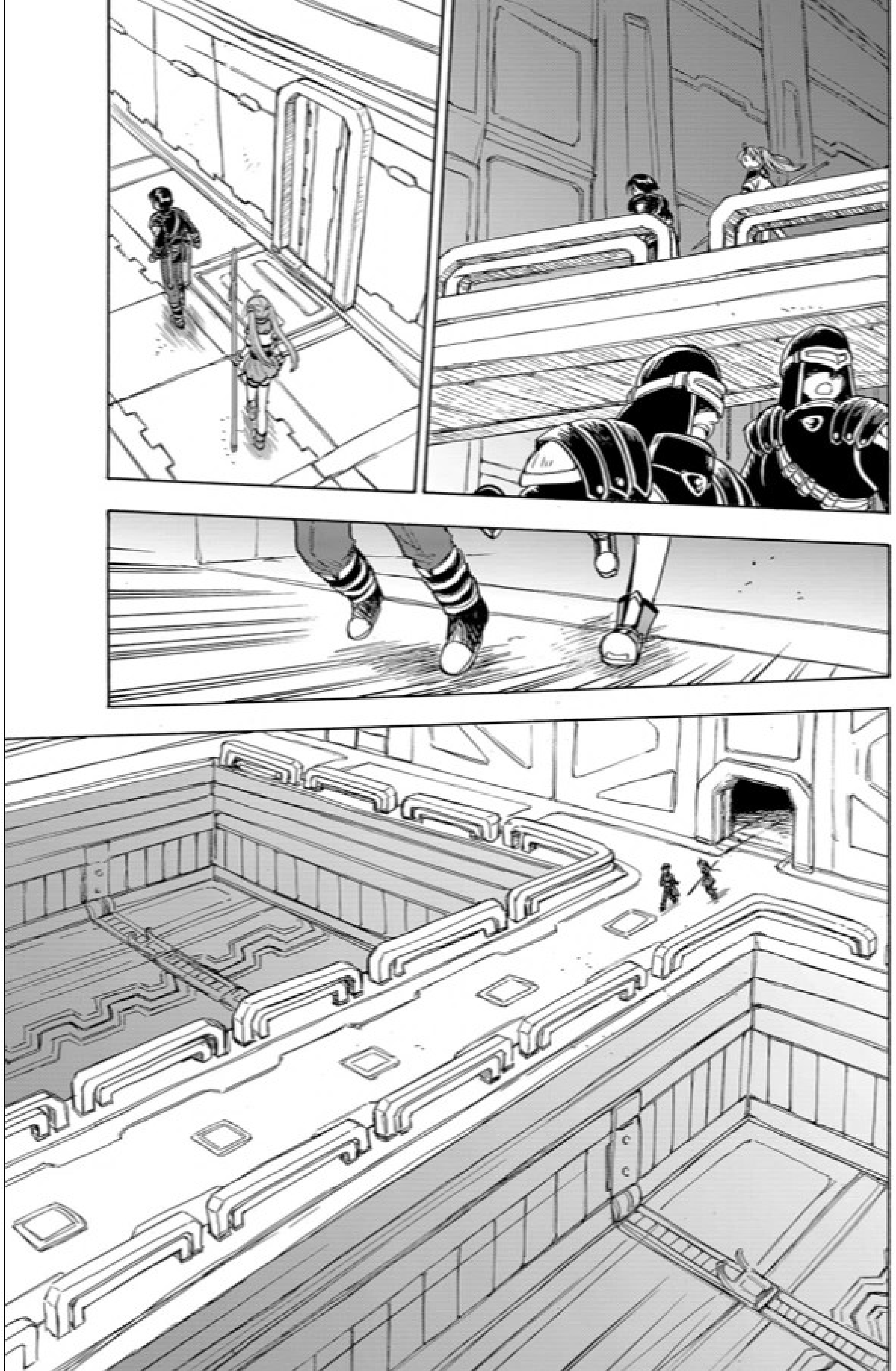
悪いけど
4つ目の選択肢を選ばせてもらうよ
なに?

22基のエンジンすべてに異なる細工をさせてもらった
放っておいたらこの船は海の藻屑と化すだろうね
教授たちがいない今
解除できるのはレーヴェだけだ
計画を阻止するための最後の切り札というわけか…
それをここで切ってしまうという意味…
その欺瞞からおまえはいつまで逃げ続けるつもりだ?

な…
なに?
……爆発?
…やってくれたな
まさか認証が必要な機関部にまで侵入したのか?

…まぁいい
今度会う時までに答えを用意しておくがいい
楽しみにしているぞ
あ…あの…
ヨ…ヨシュア…

船倉の格納庫に飛行艇を確保してある
一刻も早くグロリアスから脱出しよう
ヨシュア…
…話はその後だ
たっ
…わかった!

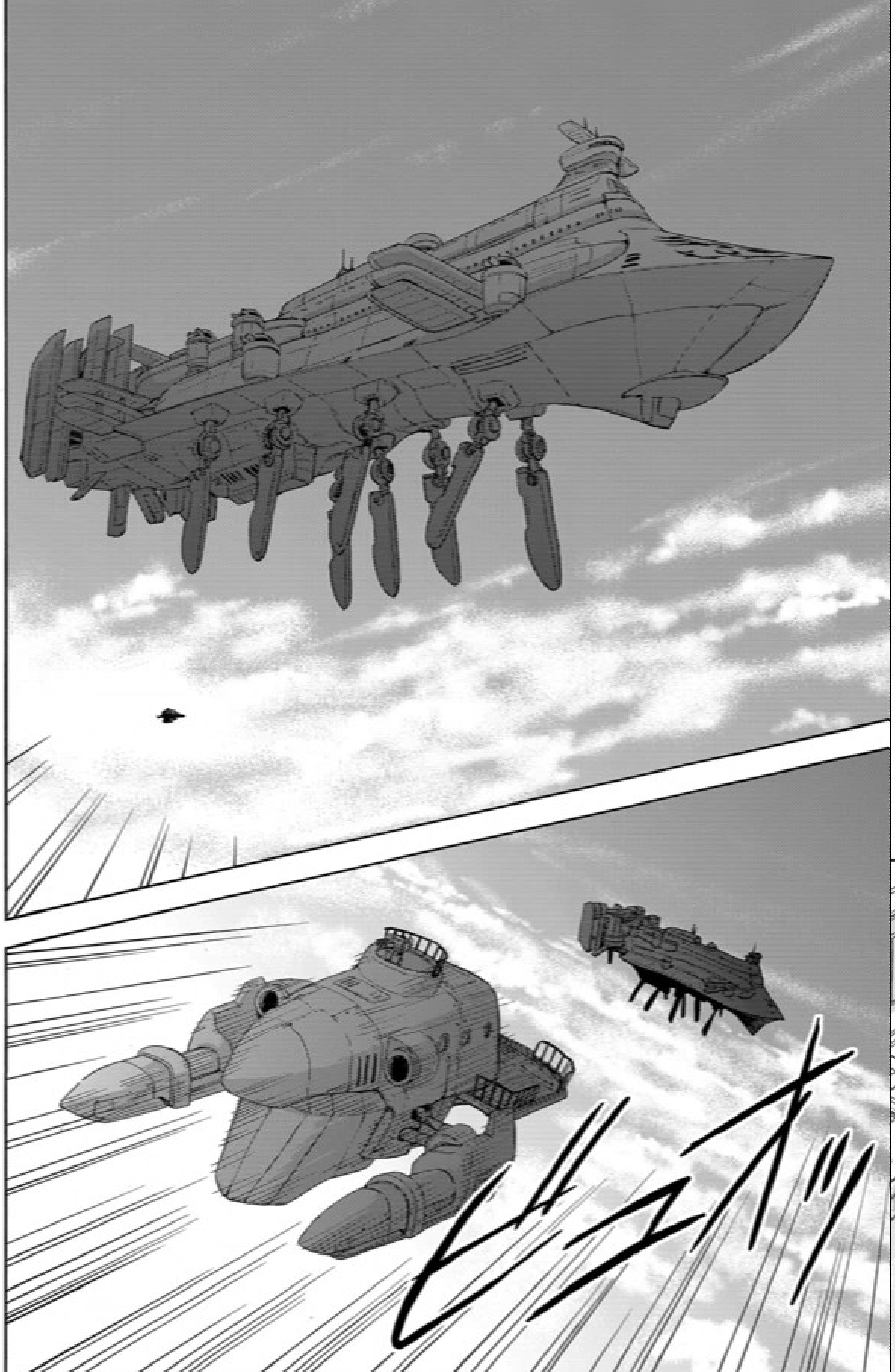


脱出用の船は一番奥の格納庫だ！
追っ手が来る前に…
ヨシュア？
そーやって黙って逃げちゃうつもりなのかぁ
つれないなぁ
レーヴェとだけ話して僕には挨拶もないのかい？

あぁあんたは確か…
カンパネルラ
僕の動きを読んでたのか
うふふ
僕はこれでも計画の見届け役だからね
他の連中よりはいろいろと気づくことが多いのさ♡
…それで?
僕とやりあうつもりかい?
まさか!
言っただろう?
僕は《見届け役》だって

楽しみだよ
かくして再会したふたりを待ち受けるのは
喜びか
絶望か…
…それじゃあおふたりさん
近いうちにまた会おう♡
ぴょんこ!
じゃーぬ
どろん!
き…消えた?
なんだったのあの人…?

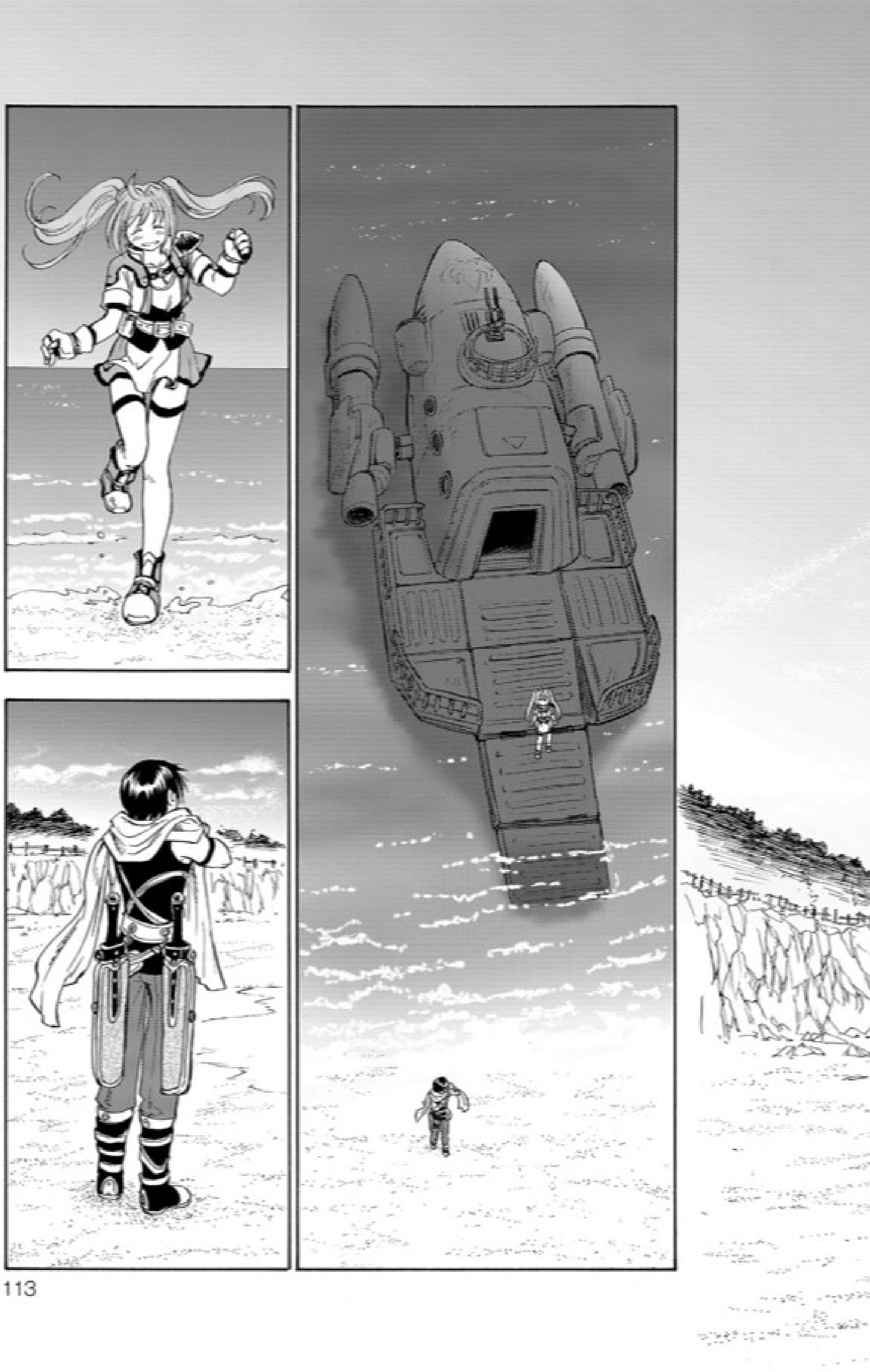
…行こう
え
あ
う…うん
エステル急いで
すぐに船を発進させる!
ガコーン
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ


ビュオッ

うまく逃げられた…
…のかな?
ねェ…
ヨシュア…

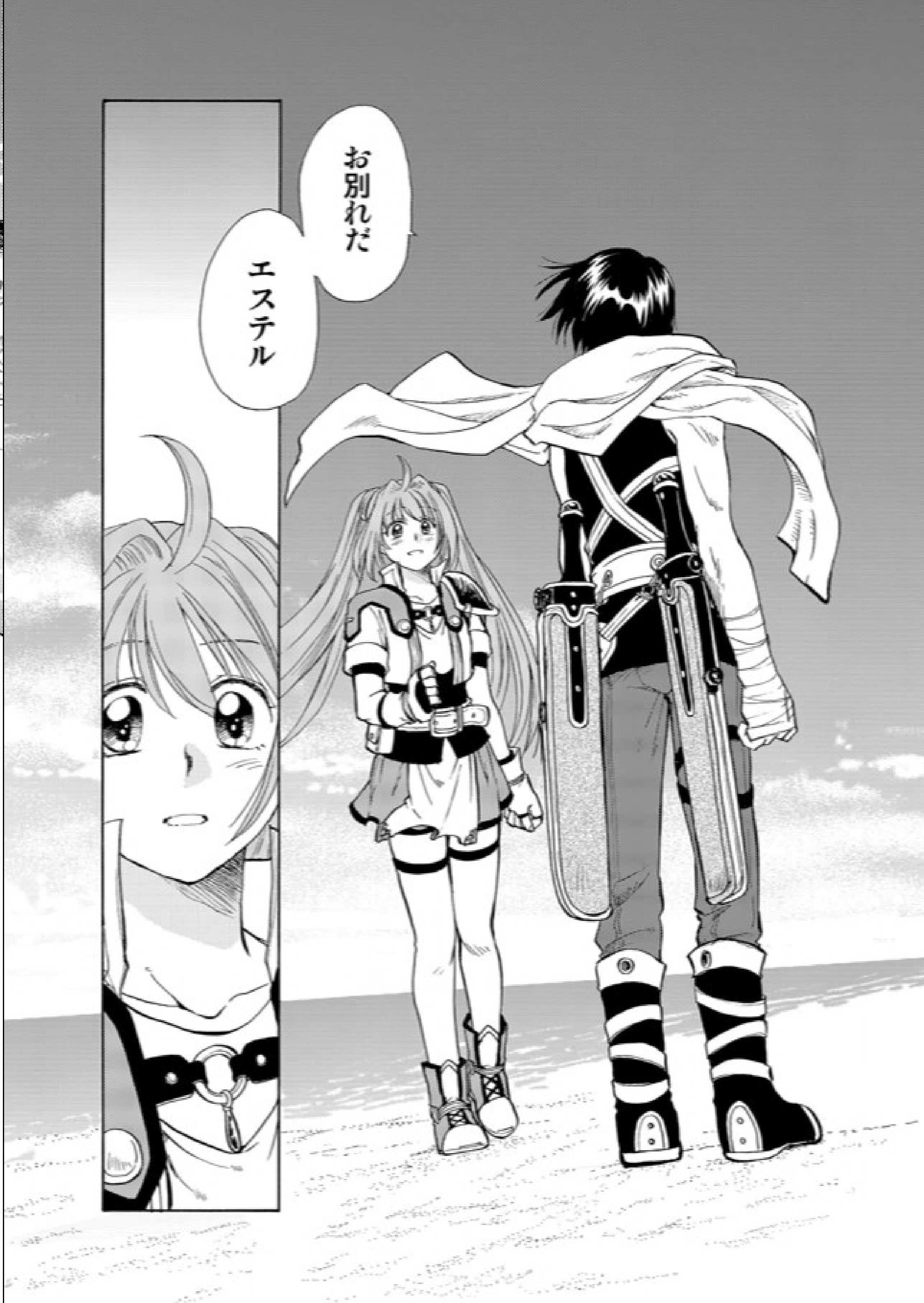
揺れるよ
気をつけて
ヨシュアがいる
本当にそこにいる
夢みたい
やっと
やっと
ヨシュアに会えた

これでもう
何も……



やっと…着いたね
やっと…戻ってきた…
…ねぇヨシュア
あたしは…

君が僕を探してくれていたのは知ってる
でも君は
僕にとって
足手まといになるだけだ
ど…どうして
僕は結社を壊滅させるために綿密な計画を立ててきたんだ
君が結社にさらわれてこなければ
僕は予定通りグロリアスを爆破することができたのに


お別れだ
エステル

あ…
そっか…
それは…ごめん…ね
だけど…それに
え？
君と僕はしょせん生きてきた世界が違うんだ
僕みたいな人間がいたら君のためにならないよ
殺すか殺されるか
奪うか奪われるか
僕は君と出会うまでそんなことばかり繰り返してきたんだから

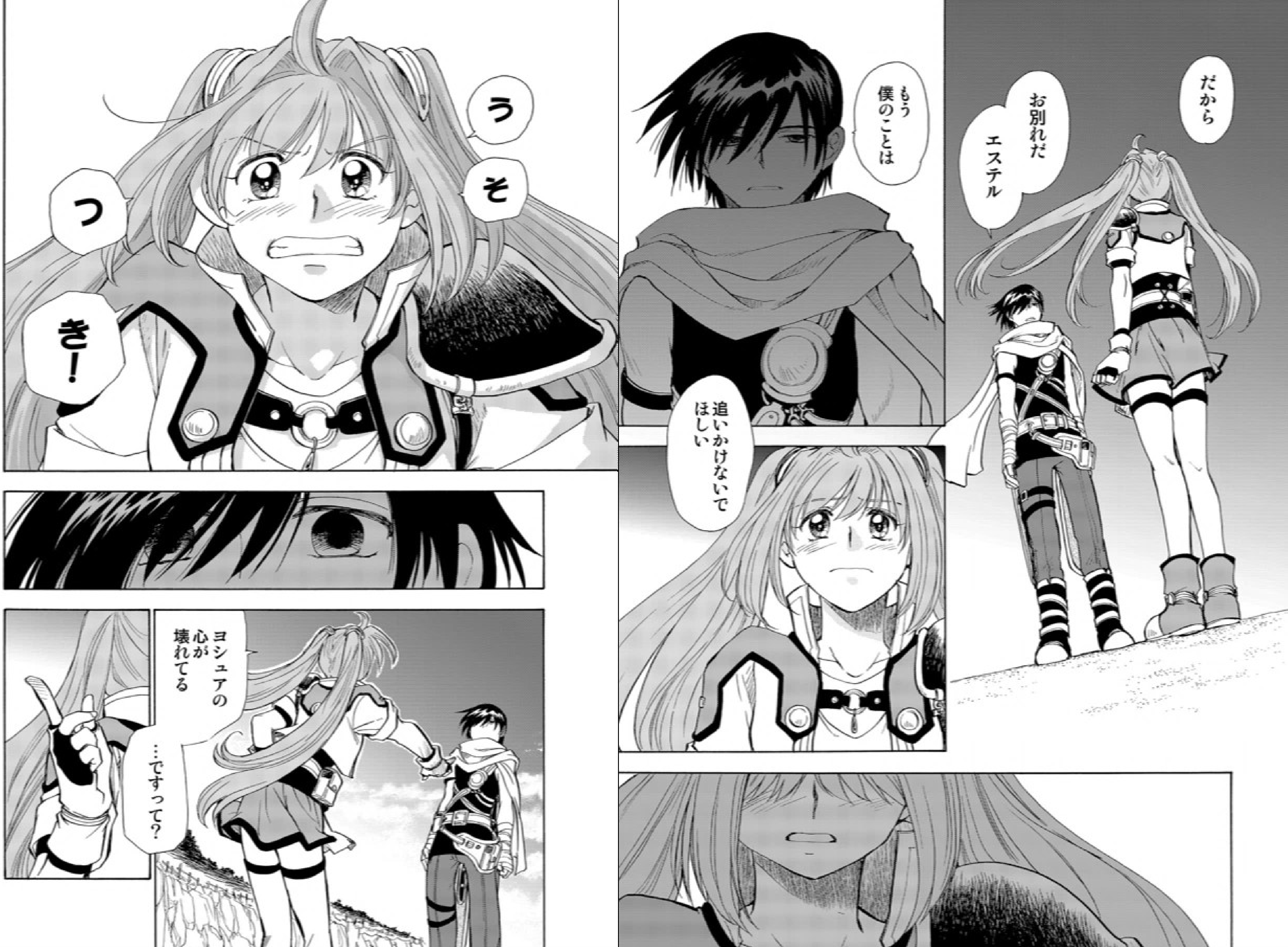
で…でも…
それだけじゃ…ないのよね？
お父さんやお母さんや
お姉さん…
それに《剣帝》…
じゃなくて
レーヴェと一緒にいて
幸せだった頃もちゃんとあったんでしょう!?
…確かに
そんな記憶も
…あるよ
でもね

その記憶はまるで
他人事みたいなんだ
え
…ハーメルでの思い出は今でもはっきり覚えているよ
穏やかで幸せだった日々のことも
両親が目の前で殺されて
火の海になったハーメル村を
隣人の屍を踏み越えながら逃げ惑ったあの夜のことも

村の外へ逃げた姉さんと僕は待ち伏せしていた男に襲われた
僕をかばってくれた姉さんは
男に軍刀で何度も何度も切りつけられて
血まみれになりながら死んでいった…
…ひどい話だろ？
でも
僕はあんまり哀しくはないんだ
たぶんそれは
僕が人であることを諦めて
ただの人形になったからだと思う

だから
自分の過去を
話してても
他人の日記を
読んでいるような
不思議な違和感しか
ないんだよ
それは
君と一緒に
いる時も
同じだった
え…
君に出会えて
僕は変われたと
思っていた
君と共に
いられるのが
嬉しかった
君のことが
愛しくて
たまらなかった

だけど
僕は
それさえも
どこか
他人事のように
感じていたんだ
たぶん…それが
本当の僕なんだよ
虚ろで
空っぽで
心が壊れた
できそこないの人形…
そんな
僕と
君は
一緒にいる
べきじゃない


だから
お別れだ
エステル
もう
僕のことは
追いかけないで
ほしい
う
そ
っ
き!
ヨシュアの
心が
壊れてる
…ですって?

あたしと一緒にいても他人事にしか感じられない?
ヨシュアがいたらあたしのためにならない?
あたしは足手まといになるだけ?
そんなのぜーんぶ
うそっぱちね!
う……
うそなんかじゃ……
あたしねヨシュアを追って色々話を聞いてきて
やっと……わかったことがあるのよね

どうしてヨシュアがあたしの前から消えたのか
その本当の理由をね
それは僕が
いいから聞いて
たぶんヨシュア自身も気づいてなかったことなの
あのね
ヨシュアは
怖かっただけよ

自分のせいで
お姉さんたちが亡くなったと思い込んで…
同じことがあたしの身にも起きるかもしれないことに
耐えられなくて…
だからあの夜
ヨシュアはあたしの前から逃げ出したのよ
それ以外の理由は
全部後づけだわ!

何を言ってるんだか……
僕は恐怖を感じることができないんだ
任務の時邪魔にならないよう教授に調整されたみたいでね
君の指摘は的外れだよ
ねえヨシュア
どうしてお姉さんが亡くなったことを他人事みたいに感じちゃうのか
その理由がわかる?

それは…
僕が壊れてるから…
ううん
違う
ヨシュアはね
お姉さんが亡くなった時のショックを思い出したくないだけ
だから無意識のうちに
他人事みたいに思い込もうとしているのよ

でも…
さっきあたしを助けてくれたのも同じことよ
相当苦労してあの戦艦に忍び込んだんでしょ？
なのに…迷いもせずにあたしを逃がしてくれた
まるであたしを一刻も早く危険から遠ざけるように…
ヨシュアは壊れてなんかない

ただ…怖がりで
自分にうそをついているだけ
今のあたしには
自信を持って断言できるわ
怖がりで
勇敢なヨシュア
うそつきで
正直なヨシュア
あたしの大好きなヨシュア

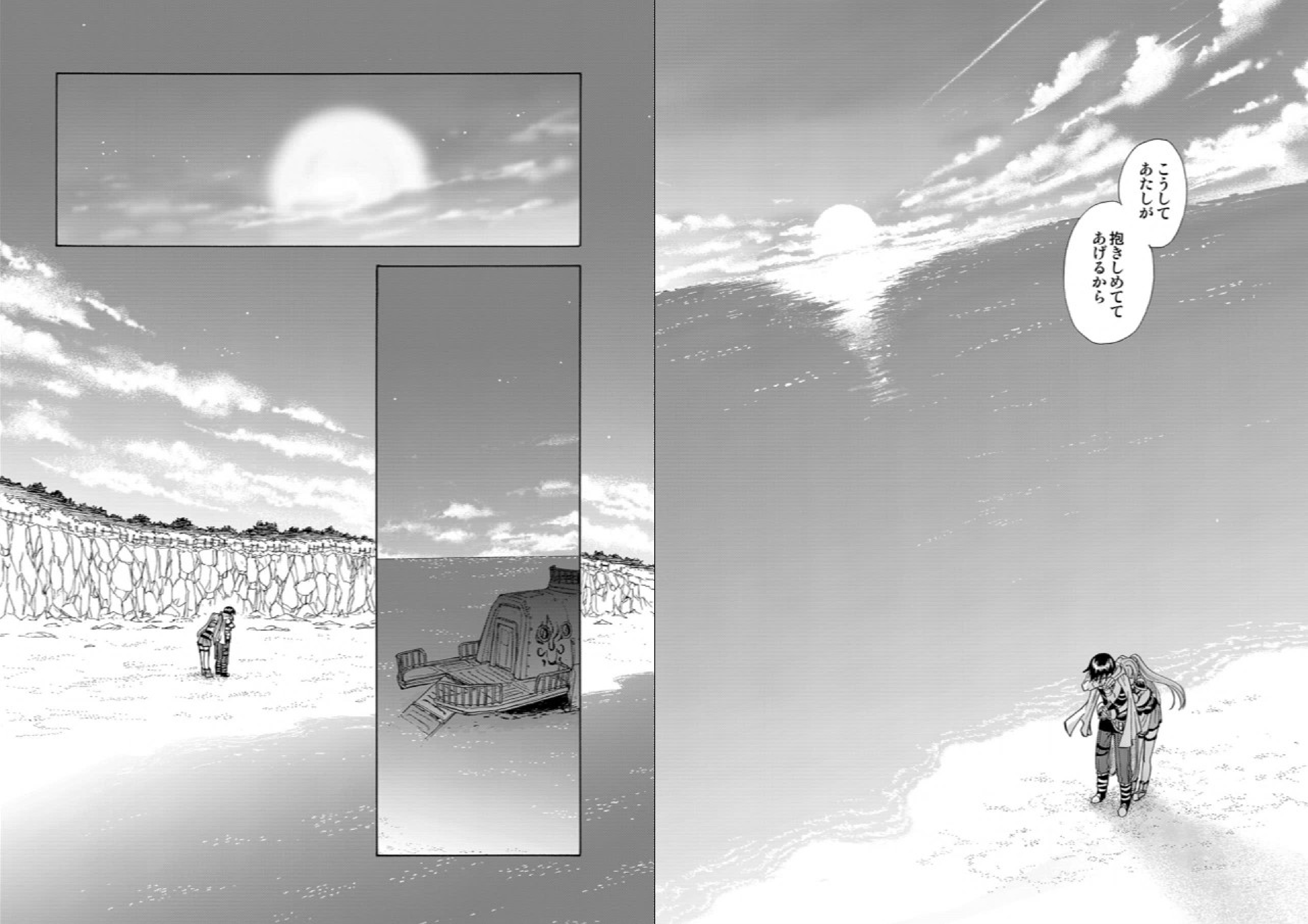
やっと
あたしは
ヨシュアに届くことができた
ねえヨシュア
約束しよう
お互いがお互いを守りながら
一緒に歩いていこうって！
あたしはもう守られるだけの存在じゃない
これでも…
ヨシュアの背中を守れるくらいには強くなった

ヨシュアが側にいてくれたら
その力は何倍にも大きくなるわ!
大丈夫
結社が何をしようと
あたしは絶対に死んだりしないから

だからもう
怖がる必要なんてないんだよ
エ…ス…
テル……

あ……
なん…で……
…涙なんて……

姉さんが死んでから…
演技でも…
流せたこと…
ないのに…
えへへ
そっか
見ないであげるから
そのまま泣いちゃうといいよ


こうして
あたしが
抱きしめてて
あげるから

…ごめん
エステル
もう…
大丈夫だから

えへへ
なんか…照れるわね
うん
そうだね
あ
そうだ!
これ
返すからね!

お姉さんの形見
…なんでしょ?
そんな大事なもの
簡単に…
…じゃないんだろうけど
だからこそ人に渡したりしちゃだめよ
ヨシュアが戻ってくるまでは……って
預かってきたけど
もうそんな必要もないんだし
ヨシュアに返すね!

だけどエステル
僕は…
戻る資格がない
とか言ったって
聞かないわよ?
いろいろやらかして悪いと思ってるなら
びし!
こそこそしてないで正々堂々ちゃんと謝んなさい!
でも
万が一君に…
あたしに危険が及ぶって言うつもりなら
それこそ聞く耳なんか持たないわ!

だって
あたしは
遊撃士だもの！
この仕事を
選んだからには
危険から遠ざかって
ばかりは
いられない
危険を承知で
自ら飛び込んでいく
ことだってあるかも
しれないわ
ヨシュアが
いようが
いまいが
その事には
変わりないの
それは
あたしが
あたしで
あるための
道だから
《結社》の脅威が
去らない限り
あたしはこれからも
彼らを追い続ける
ことになると思う
それはヨシュアも
同じでしょ？
だったら
ひとりよりも
ふたりで
いる方が
絶対いいに
決まってるわ！
ん～
……
だって
そうすれば
こーんな
かわいい女の子と
いつも一緒に
いられるのよ？
ほらっ
おおう
ヨシュア
だって
その方が
楽しいと
思わない？

ふ…
ふふ…
そんな…
かわいいなんて…
自分で言うとか…
あ や それは
ちょっと調子にのっただけで…
だって ただでさえそんな
かわいらしい格好してるのに…
ひゃあ
あ
なんかすっかり忘れてたぁぁ
ちっ 違うのよ!?
これはシェラ姉が正遊撃士のお祝いに選んでくれたってだけで!
べっ別に女の子らしくなりたいとか
それを見せつけてやりたいとか
そーゆーことは全然思ってないんだからね!?

だけどエステル
君は本当に
本当に…
すっごくかわいいなって…
…ああ もう
馬鹿だな僕は…!
どうして
君と離れられるなんて思ったんだろう

こんなに…
こんなにも
君のことが愛しくてたまらないのに
ね…
ねぇ…
ヨシュア…

その…
は…初めてって…
女の子にとって…
やっぱり…
すっごく…大切なもの…
なのよね
…なのにっ
ヨシュアのせいで台無しになっちゃったしっ
そもそもスタートがあんなにひどかったから
いまだにずーっと悲しい想い出のままなのよっ
だから
その…
あの夜のやり直しを要求しても
…いいよね？
…ここで…

エステル…

こらー!!
まったく!!
ちょっと目を離したスキに!!
なーにをふたりで
いちゃいちゃしてんだよ!!

ジョ…
ジョゼット!?
どうしてあんたがこんなところにいるのよ!?
ぺ…別にっ
あれからどうなろうと知ったことじゃないけどさっ
助けに入った手前
無事に逃げきれたかくらいは確認しておこうと思ってさ
助け?なんの?
は?
あん時あんたたちの乗った飛行艇
デカブツの仲間に追っかけられてやられそうだったじゃん

そこへさっそうとボクたちの山猫号が現れて
あんたたちの逃走を手助けしてやったんじゃないか
えーと…
覚えてないっての!?
ごめん寝てた……
はああ!?
なに言ってんのこの能天気娘はぁ~~っ
まあまあ
とにもかくにも無事でよかったじゃないか
…で?
小僧はこの後
どうするんだ?

なんならまたボクたちの仲間にしてやってもよかったんだけどさ
…その様子じゃ聞くまでもなさそうだな？
ジョゼット ドルンさん キールさん
ありがとう
僕は
エステルと一緒に戻ろうと思います

エステル
敵は…
《結社》はあまりにも強大だ
正直…苦しい戦いになるだろう

うん
でも…
もう二度と
現実から逃げたりしないって
約束するよ
君と一緒に最後まで歩いて行くって
うん
あたしも誓うわ！

英雄伝説 空の軌跡SC
～絆の在り処～ ④

著　者　啄木鳥しんき
原　作　日本ファルコム

発行人　田中一寿
発　行　株式会社フィールドワイ
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台３－１－９日光ビル３Ｆ
TEL 03-5282-2211（代表）

カバーデザインワーク　啄木鳥しんき
本文・装丁フィニッシュワーク　武田崇廣（Techno Deco Co.,Ltd.）

©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©KITSUTSUKI SHINKI
©2019 FIELD-Y

おかげで新しい目標ができました。これからもどうかよろしくお願い致します！
2019.07. 啄木鳥しんき